
はままつ こさいとよはし

浜松湖西豊橋道路

第3回 計画段階評価

国土交通省 中部地方整備局

令和3年11月24日

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ		2
2. 第2回意見聴取の結果		6
3. 対応方針(原案)の検討		21
4. 自治体への意見照会結果		26
5. 対応方針(案)まとめ		33

1. 計画段階評価の検討の流れ

1. 計画段階評価の検討の流れ

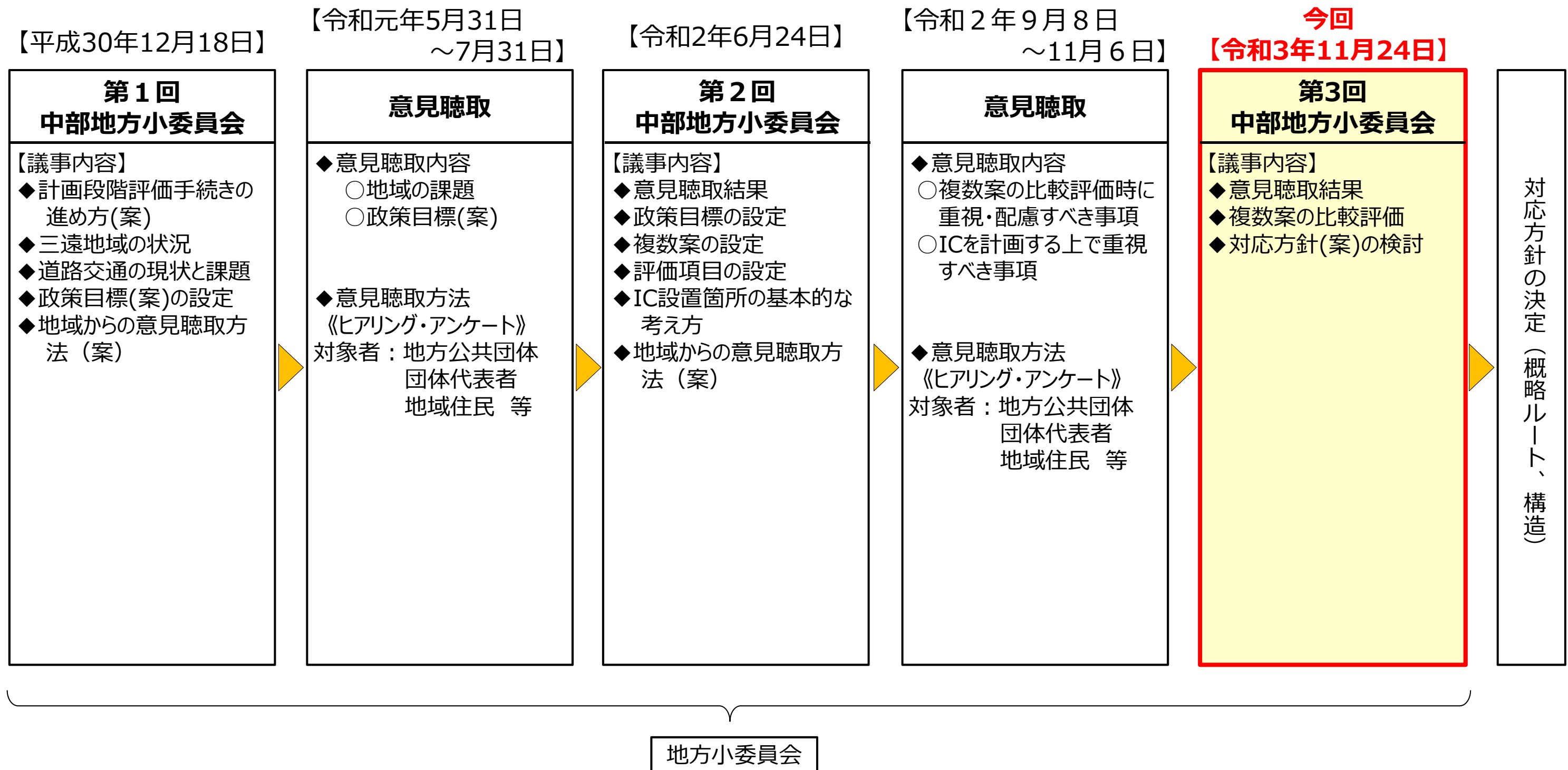
1) 評価対象区間

● 評価対象区間は、東名高速道路三ヶ日JCTと三河港を結び、弓張山地の東側を経過地とする区間

○ 評価対象区間周辺



1. 計画段階評価の検討の流れ 2) 計画段階評価手続きの進め方



1. 計画段階評価の検討の流れ

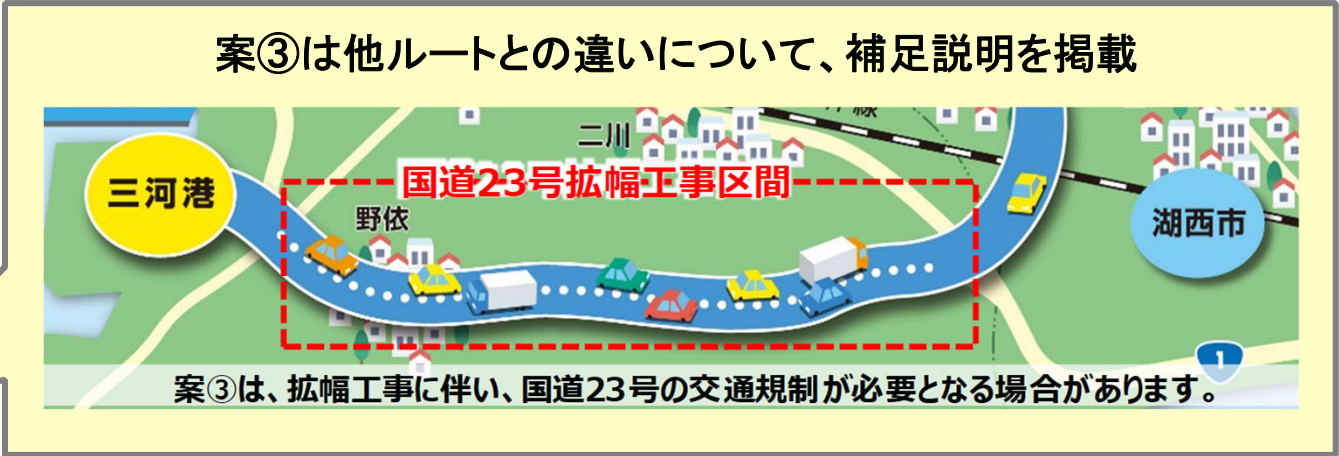
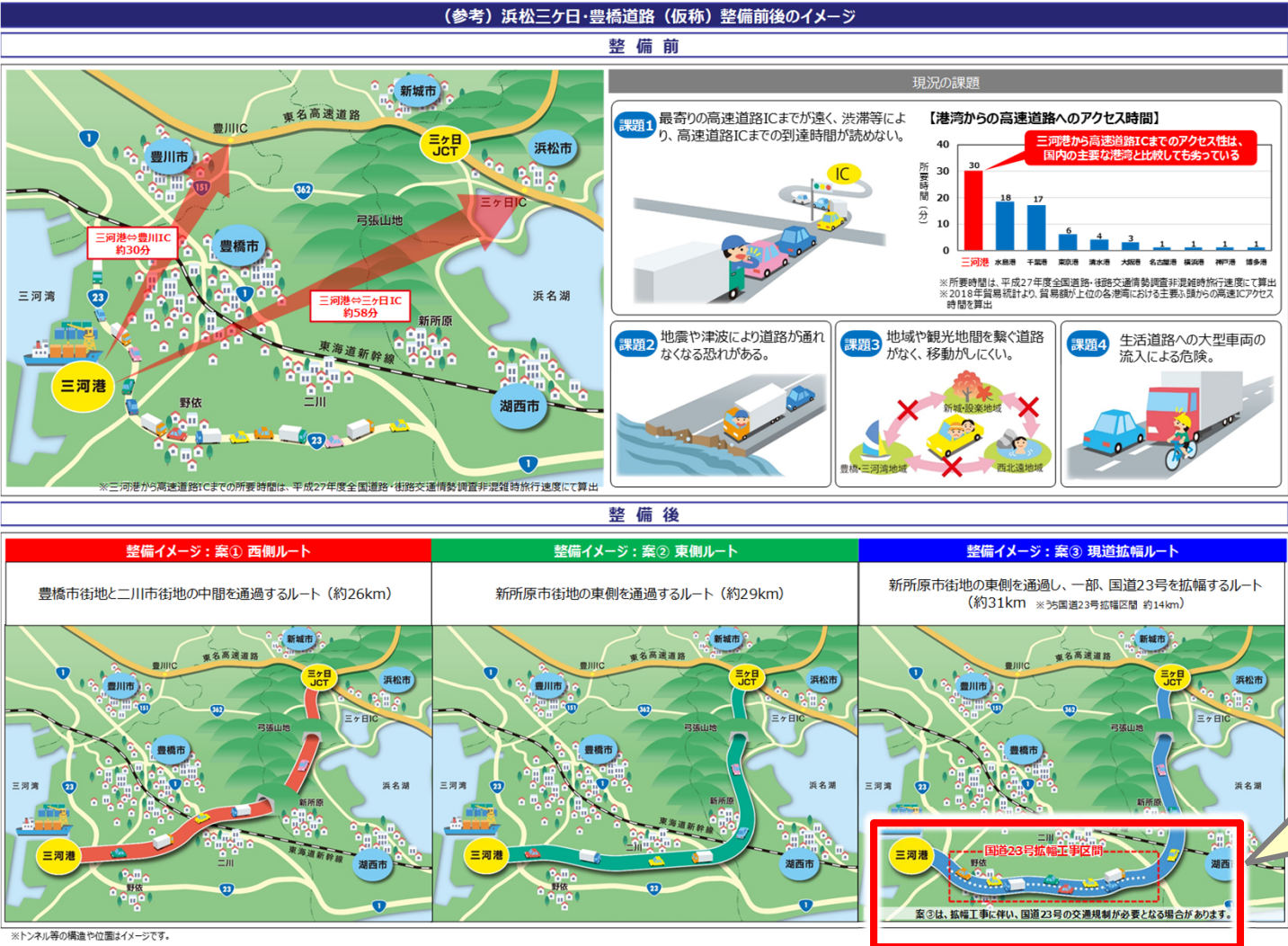
3) 前回審議内容

■ 前回審議での主なご意見と対応状況

指摘事項	対応状況	該当箇所
・3案あるルート帯案の違いを明確にした方が良い。特に、案①②と③の間にある差を意識して見直す必要があるのではないか。	・各案が通過するルートのイメージを分かりやすくイラストで表現しつつ、案③は他2案との違いについて補足説明を掲載した。	P5
・路線が連絡する三河港を利用している事業者等にもヒアリングを行い、意見を反映すべきではないか。	・三河港振興会等三河港の関係企業にヒアリングを実施し、三河港を利用している事業者の具体的なニーズを把握。	P7,17,18
・第1回意見聴取結果が事業者の意見と道路利用者（個人）の意見が一サンプルとしてまとめられているのは分けるべきではないか。	・事業者と一般道路利用者の意見を分けて整理した。	意見聴取結果参照

■ 各案が通過するルートイメージを表現したイラストを掲載。

候補として挙げる3つのルートが通過するイメージをイラストで分かりやすく表現した資料を追加し、アンケートを実施。特に案③については他2案との違いを資料に補足説明を掲載した。



2. 第2回意見聴取の結果

2. 第2回意見聴取の結果 1) 意見聴取の概要①

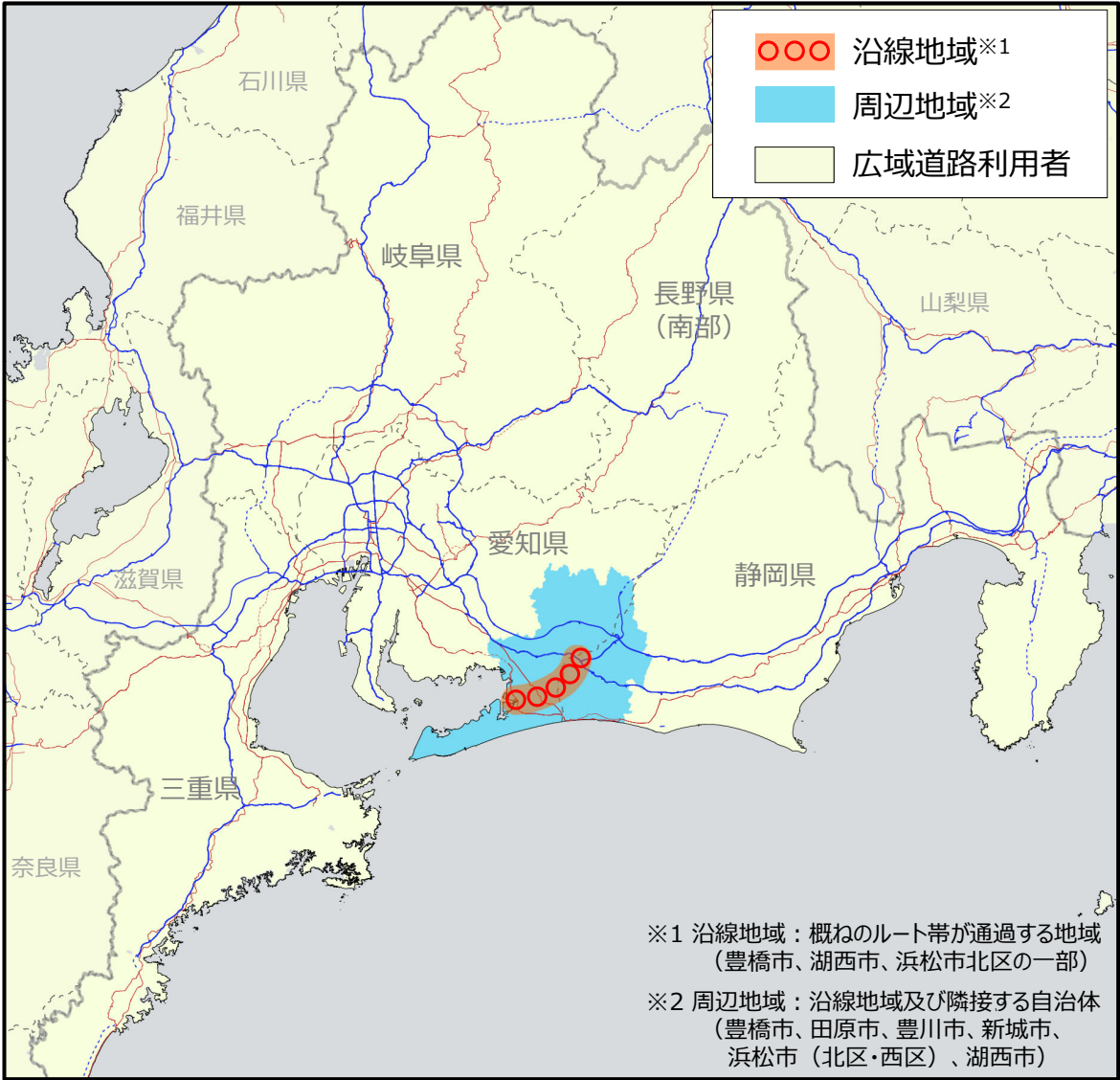
- 浜松湖西豊橋道路（評価対象区間）の沿線・周辺地域の住民、各種団体、関係する地方公共団体、道路利用者などへ意見聴取を実施。
- 意見聴取期間は令和2年9月8日～令和2年11月6日。

■意見聴取（2回目）の概要と結果

1) 一般道路利用者

分類		手法		対象	配布数	回収数	回収率
地域住民	沿線住民	郵送配布[全戸配布]		・概ねのルート帯が通過する地域（豊橋市・湖西市・浜松市北区の一部）	63,027	16,842 ※WEB回答含む	27%
	周辺住民	郵送配布[無作為抽出]		・沿線地域及び隣接する自治体	41,135	12,164 ※WEB回答含む	30%
		留め置き		・主に地域住民の利用が想定される施設 ＜市役所＞ 9箇所	-	3,779	-
		WEB	ホームページ バナー/リンク 2次元バーコード	・回答のうち、周辺（沿線含む）地域居住者 ＜バナー・リンクの設置団体＞ 浜松河川国道事務所、名四国道事務所 周辺地域の6市（豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市、湖西市）	-	4,008	-
			登録モニター	・計画路線周辺を訪れたことがある中部圏に住む登録モニターの内、 周辺地域居住者	-		
小計					104,162	36,793	-
道路利用者	広域地域	留め置き		・主に広域地域から利用が想定される施設 ＜道の駅＞ 7箇所 ＜東名・新東名のSA/PA＞ 4箇所 ＜渥美半島の宿泊施設＞ 3箇所	-	414	-
		WEB	ホームページ バナー/リンク 2次元バーコード	・回答の内、広域地域居住者 ＜バナー・リンクの設置団体＞ 浜松河川国道事務所、名四国道事務所 周辺地域の6市（豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市、湖西市）	-	4,709	-
			登録モニター	・計画路線周辺を訪れたことがある中部圏に住む登録モニターの内、 広域地域居住者	-		-
	小計					-	5,123
合計					104,162	41,916	-

〔意見聴取エリア〕



2) 事業者（地方公共団体・各種団体）

調査媒体	手法	対象	配布数	回収数	回収率
アンケート（紙面）	郵送配布	・各種団体所属企業・会員 ＜配布対象＞ 商工会議所会員企業、三河港振興会 会員企業及び会員企業が利用している物流業者、観光協会会員、温泉旅館組合会員、トラック協会会員、バス協会会員、タクシー協会会員	1,485	403	27%
ヒアリング	ヒアリング	・地方公共団体及び関係機関・団体 ＜地方公共団体＞ 愛知県、静岡県、沿線地域及び周辺地域の6市（豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市、湖西市） 物流面での結びつきの強い地域（豊田市） ＜各種団体＞ 教育委員会、消防署、警察署、医療機関、商工会議所、三河港振興会、観光協会、トラック協会、バス協会、タクシー協会、温泉旅館組合、農業協同組合、道の駅、商工会議所会員企業、中部圏の全国旅行業協会、日本旅行業協会 等	-	-	-

- ・周知方法：記者発表、ポスター掲示、周辺地域の自治体による広報誌及び、回覧、国、県、沿線・周辺地域地方公共団体HPへのバナー及び、リンク貼り付け（浜松河川国道事務所、名四国道事務所、周辺地域※2の自治体）
- ・配布方法：①住民アンケートについて、沿線地域※1は全戸配布、周辺地域※2は無作為抽出で配布
※地域在住の方に幅広く意見を聴取する目的で1世帯つき、2枚回答標を同封。
- ②上記以外は、市・区役所や道の駅、SA/PA等へのアンケート用紙設置
- ・回収方法：①郵便ポスト、2次元バーコードによるスマートフォン等からの回答（WEB）
②市・区役所や道の駅、SA/PA等に投函ボックスを設置
- ・期 間：約2ヶ月（9月8日～11月6日）

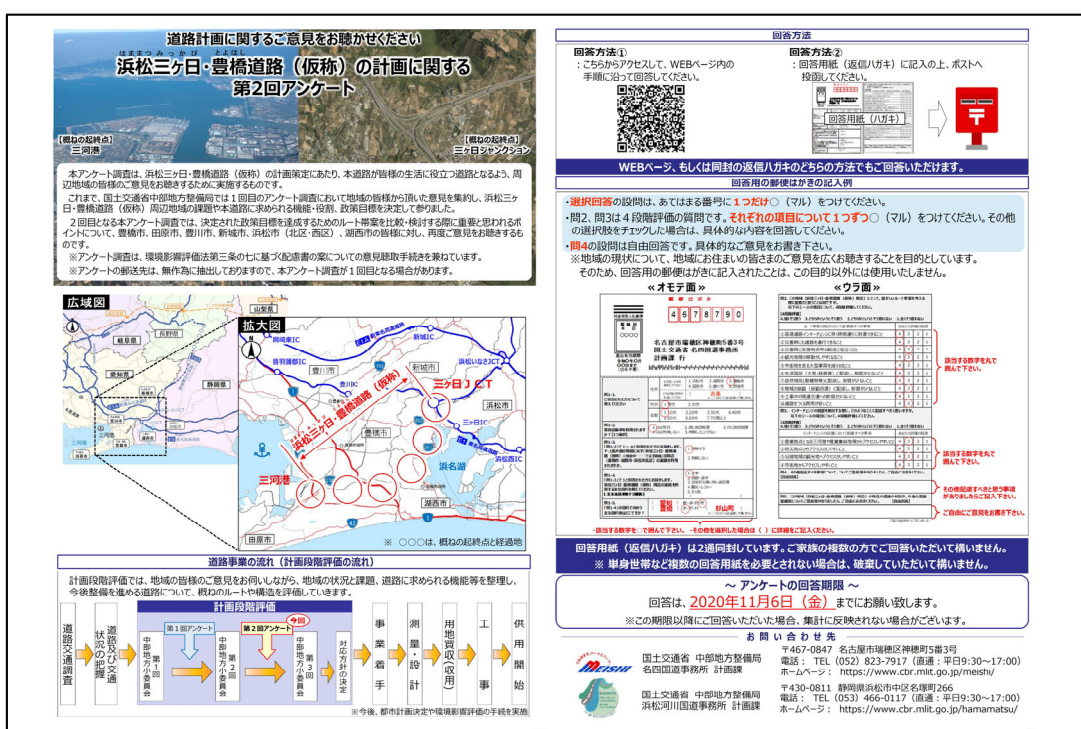
2. 第2回意見聴取の結果 1) 意見聴取の概要②

- 沿線地域、周辺地域の住民や道路利用者に対して、ポスター掲示により広く周知を行いつつ、郵送配布によるアンケートやホームページ上にアンケート回答ページを設置し、調査を実施。
- これらに合わせて、高速道路 S A / P A、市役所及び渥美半島方面の宿泊施設等へアンケートブースの設置も実施。

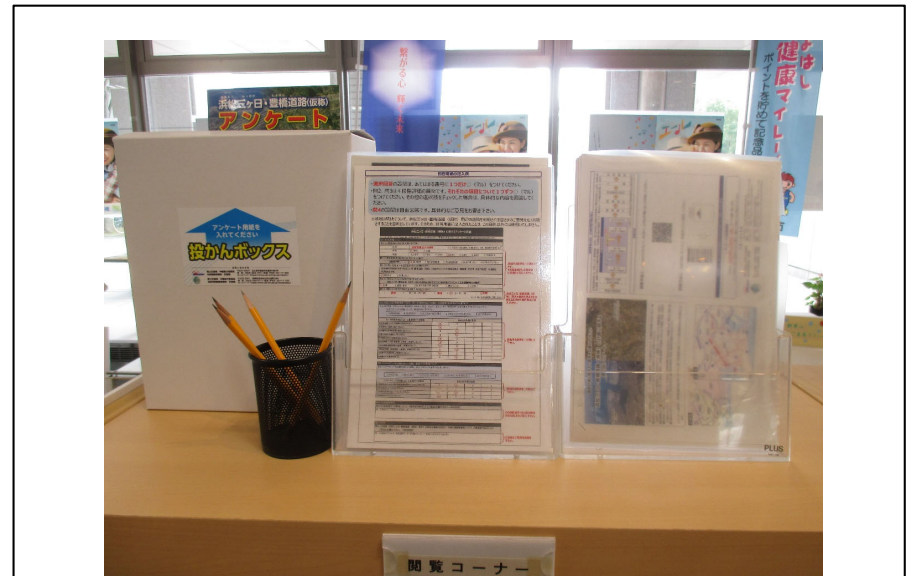
■ポスター掲示



■アンケート郵送

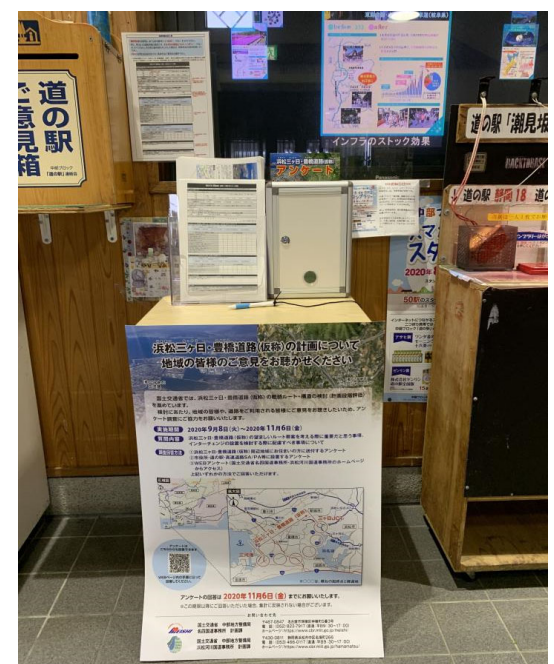
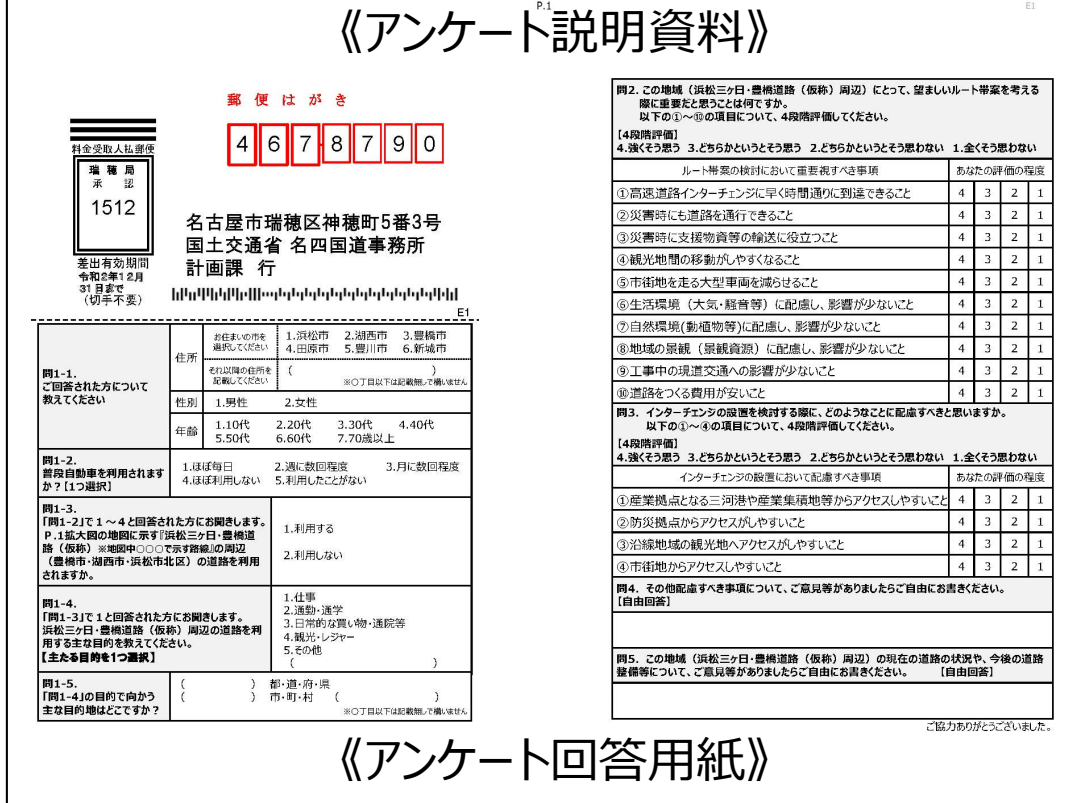


■アンケートブース設置



《豊橋市役所》

■HP上でのアンケート回答ページ設置



《湖西市 道の駅潮見坂》

2. 第2回意見聴取の結果 1) 意見聴取の概要③

- アンケート調査では、ルート帯を検討する際に重視すべき事項、インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき事項を聴き取るための内容を設定した。

■質問事項

対策案(ルート帯案)を検討する際に、政策目標・配慮するポイントで、重要だと思う事項

質問1：この地域（浜松湖西豊橋道路周辺）にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。
以下の①～⑩の項目について、4段階で評価してください。
その他ご意見があれば⑪に記入してください。

<4段階評価> 4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない

- ①高速道路ICに早く時間通りに到達できること
- ②災害時にも道路を通行できること
- ③災害時に支援物資等の輸送に役立つこと
- ④観光地間の移動がしやすくなること
- ⑤市街地を走る大型車両を減らせること
- ⑥生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑦自然環境（地形・地質・動植物・自然公園等）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑧地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと
- ⑨工事中の現道交通への影響が少ないこと
- ⑩道路をつくる費用が安いこと
- ⑪その他（自由回答）

インターチェンジの設置を検討する際に、配慮すべき事項

質問2：インターチェンジの設置を検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか。
以下の①～④の項目について、4段階で評価してください。
その他ご意見があれば⑤に記入してください。

<4段階評価> 4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思わない

- ①産業の拠点となる三河港や産業集積地などからアクセスしやすいこと
- ②防災拠点からアクセスしやすいこと
- ③沿線地域の観光地へアクセスしやすいこと
- ④市街地からアクセスしやすいこと
- ⑤その他（自由回答）

質問3：その他配慮すべき事項について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

質問4：この地域（浜松湖西豊橋道路周辺）の現在の道路の状況や、今後の道路整備等について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

○ルート帯案を検討する上での「重視すべき事項」、「配慮すべき事項」を確認

<重視すべき事項>

速達性・定時性の向上による物流支援

災害時の信頼性向上による円滑な救援等活動及び支援物資輸送

広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進

生活交通の安全な走行環境

<配慮すべき事項>

生活環境への配慮

自然環境への配慮

景観への配慮

現道交通への配慮

経済性への配慮

インターチェンジの設置を検討する際に、「配慮すべき事項」を確認

上記以外の「配慮すべき事項」や「道路整備に関する意見」を確認

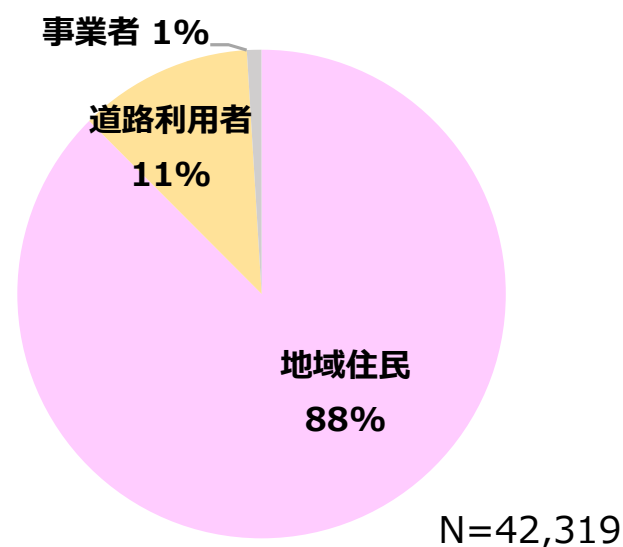
2. 第2回意見聴取の結果 2) 回答者属性

- 地域住民36,793人、道路利用者5,123人、事業者（団体・企業）403団体・社から意見聴取を実施。
- 地域住民の居住地は、豊橋市が約 5 割、湖西市が約 2 割、浜松市が約1割。道路利用者は、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県それぞれで約 2 割程度。
- 事業者の業種は、製造業が約4割、運送業が約 3 割を占めている。

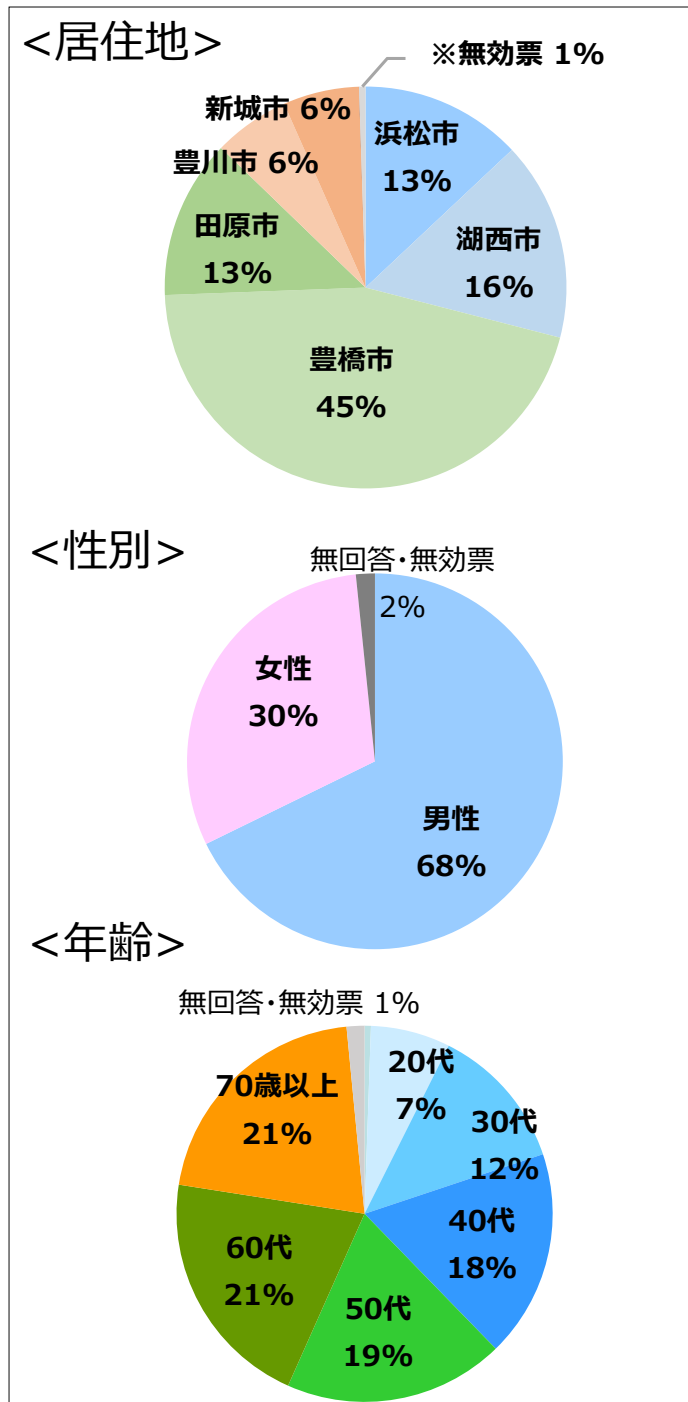
■アンケート回収状況

分類		回収数(件)
一般道路利用者 (41,916件)	地域住民	36,793
	道路利用者	5,123
事業者		403
合 計		42,319

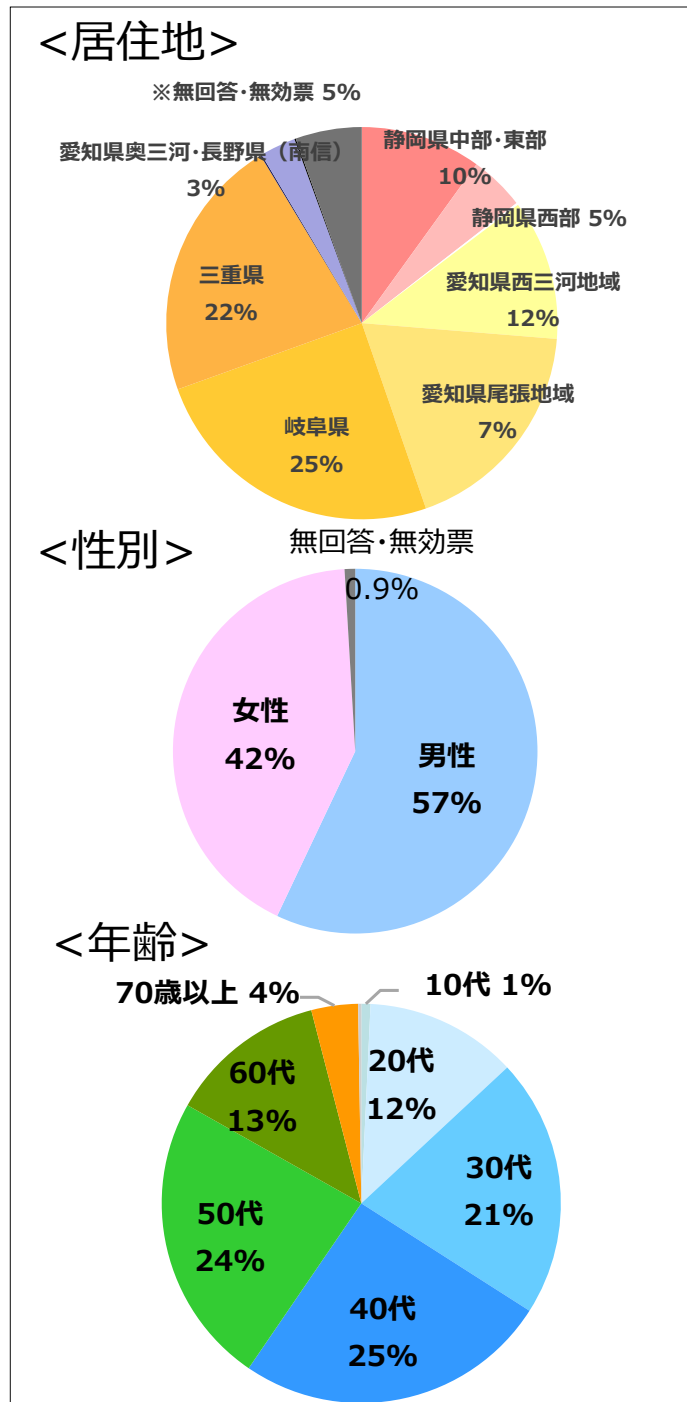
■回答者の分類



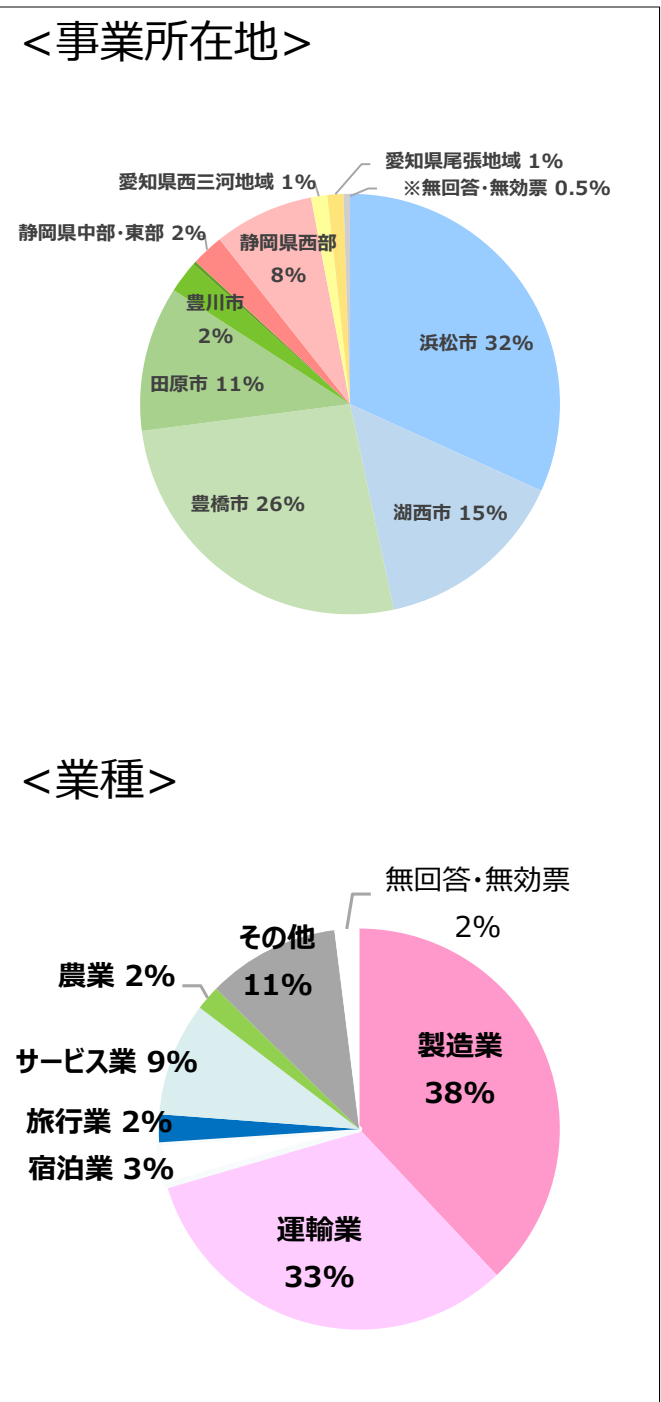
■地域住民 N=36,793



■道路利用者 N=5,123



■事業者 N=403



2. 第2回意見聴取の結果 3) 道路の利用形態①（一般道路利用者）

- 自動車の利用頻度は、地域住民、道路利用者ともに、ほぼ毎日・週に数回利用と回答した方が約9割。
- 浜松湖西豊橋道路の周辺道路を利用すると回答した方は、地域住民が約7割、道路利用者が約4割。
- 周辺道路の利用目的は、地域住民は「日常的な利用」が約6割、道路利用者は「観光・レジャー」での利用が約7割。
- 目的地は、地域住民、道路利用者ともに、周辺地域が最も多く約8割を占める一方で、東海地域内外の広域の目的地も約2割存在。

① 一般道路利用者の自動車の利用頻度と浜松湖西豊橋道路周辺道路の利用状況

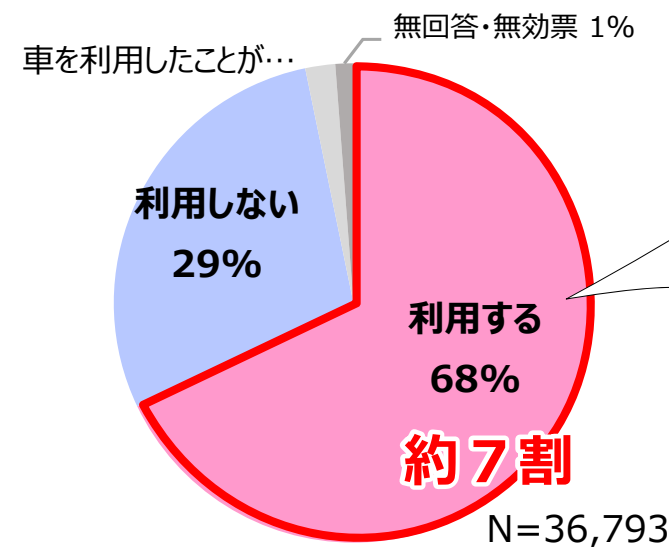
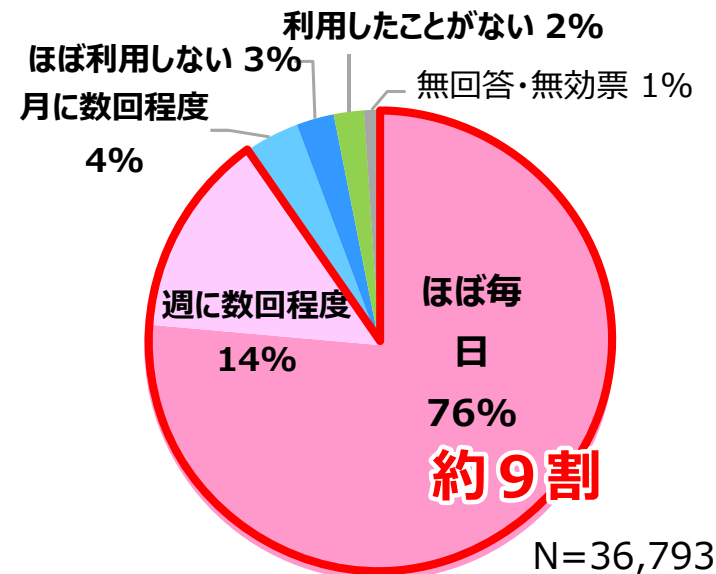
■ 自動車の利用頻度

■ 周辺道路の利用状況

■ 周辺道路の利用目的と目的地

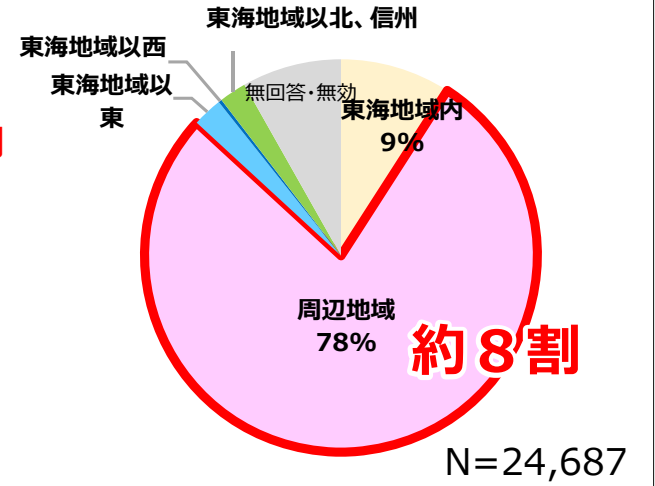
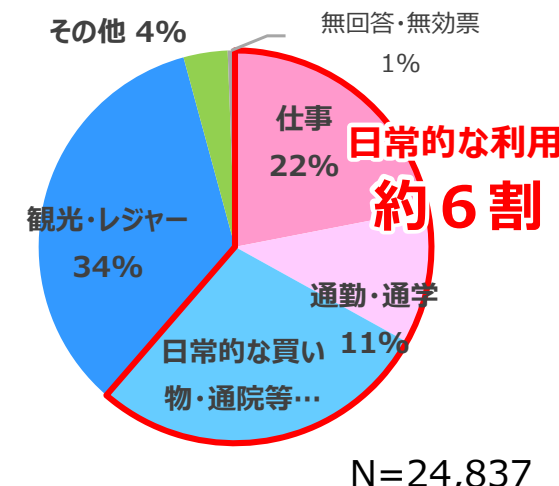
(周辺道路の利用目的と目的地の設定については、前問の【周辺道路の利用状況】で周辺道路を「利用する」と答えた回答者が対象)

△ 地域住民 △



■ 利用目的

■ 目的地



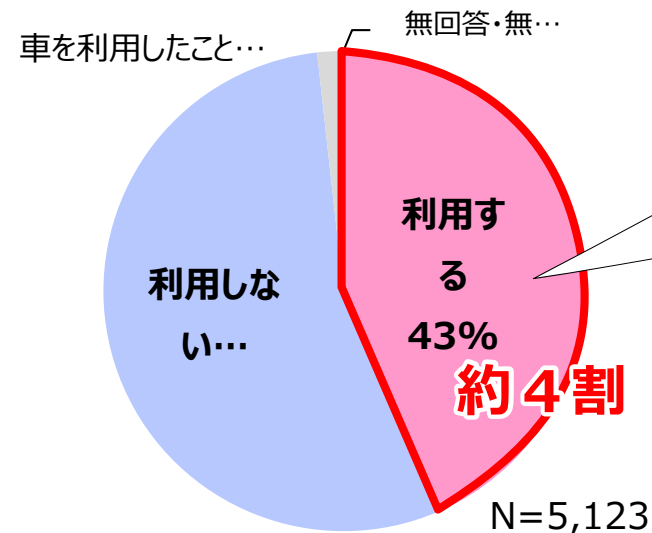
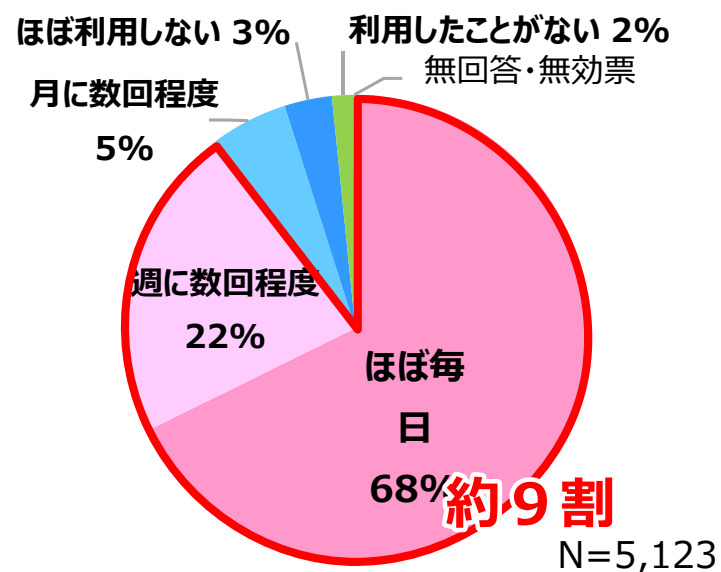
■ 自動車の利用頻度

■ 周辺道路の利用状況

■ 周辺道路の利用目的と目的地

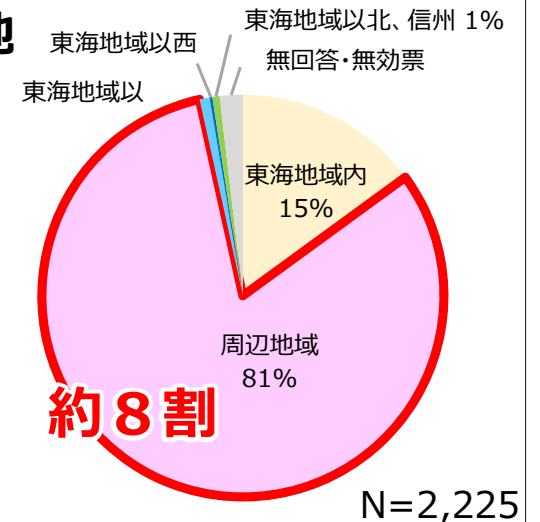
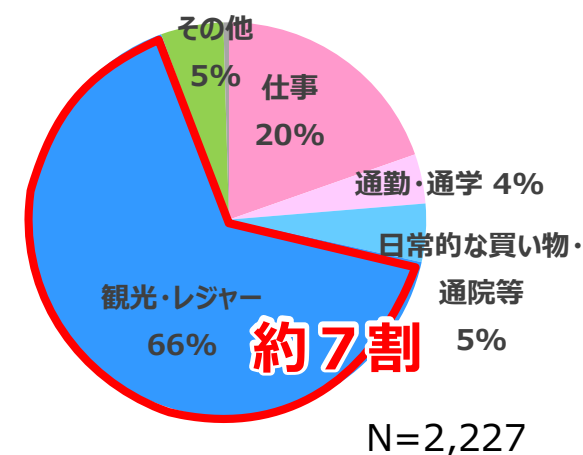
(周辺道路の利用目的と目的地の設定については、前問の【周辺道路の利用状況】で周辺道路を「利用する」と答えた回答者が対象)

△ 道路利用者 △



■ 利用目的

■ 目的地



※0.5%未満は非表示

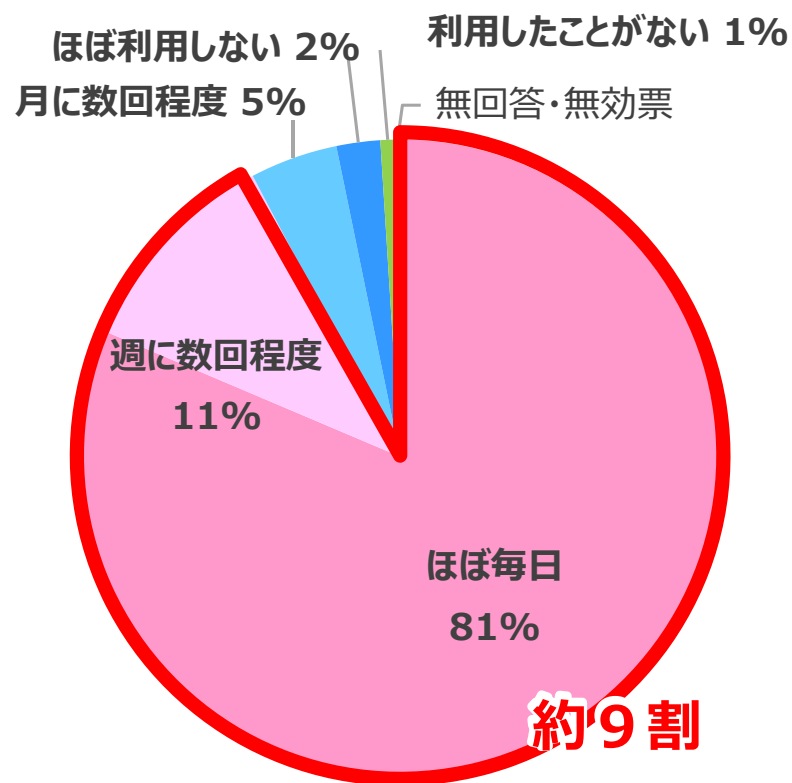
※東海地域：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
※周辺地域：豊橋市、田原市、豊川市、新城市、浜松市（西区・北区）、湖西市

2. 第2回意見聴取の結果 3) 道路の利用形態②-1 (事業者)

- 自動車の利用頻度は、ほぼ毎日・週に数回利用と回答した方が約9割で、浜松湖西豊橋道路周辺道路を利用すると回答した方は約7割。
- 周辺道路を利用する事業者の業種は、「運輸・運搬」が約5割。
- 周辺道路を利用する事業者の目的地は、「周辺地域内の発着」が約6割、「周辺地域⇔周辺地域外の発着」が約3割。
「周辺地域⇔周辺地域外の発着地」の行き先の約6割は、静岡・関東などの東方面。

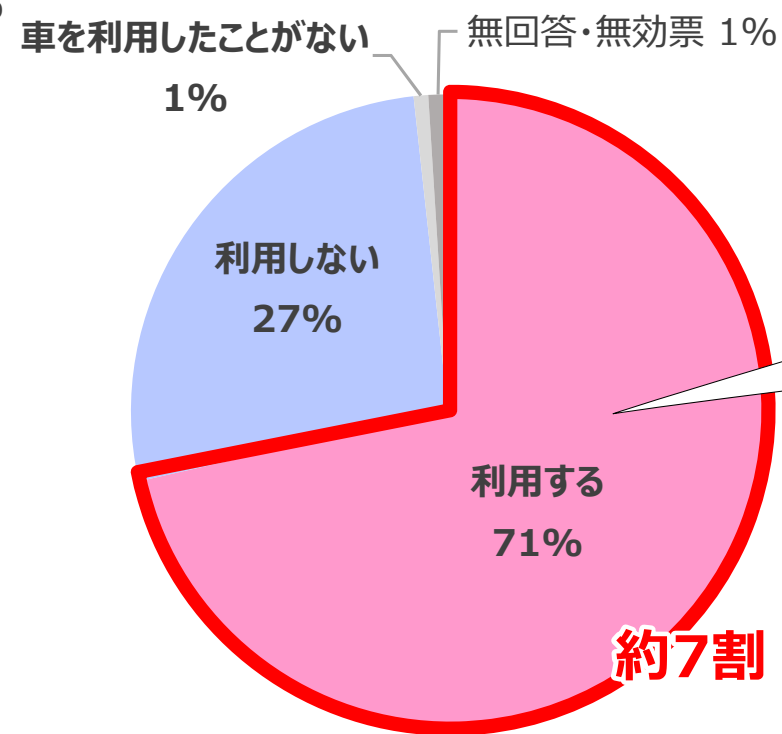
②-1 事業者の自動車の利用頻度と浜松湖西豊橋道路周辺道路の利用状況

■ 自動車の利用頻度



N=403

■ 周辺道路の利用状況



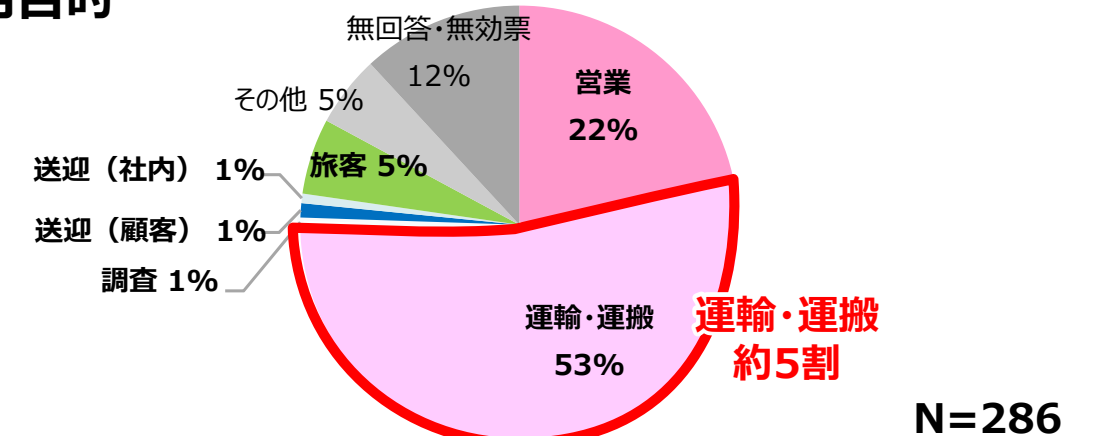
N=403

※0.5%未満は非表示

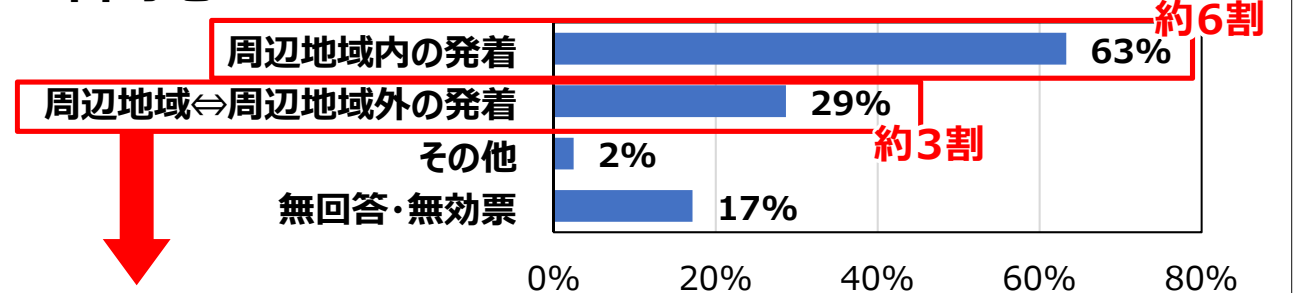
■ 周辺道路の利用目的と目的地

(周辺道路の利用目的と目的地の設問については、前問の【周辺道路の利用状況】で周辺道路を「利用する」と答えた事業者が対象)

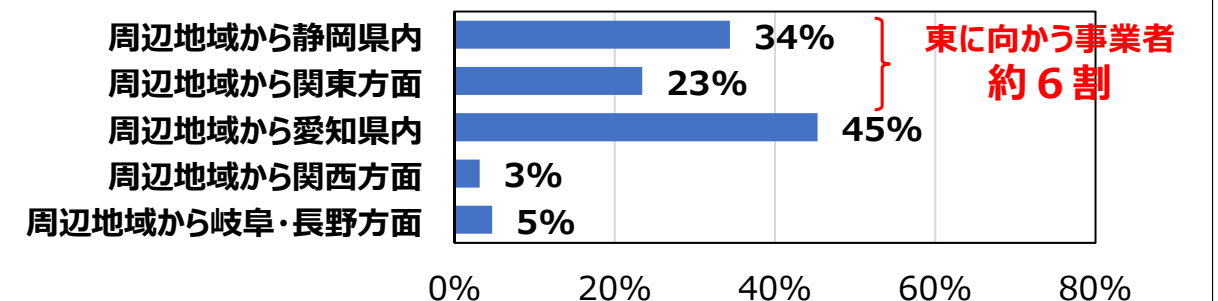
■ 利用目的



■ 目的地 (複数回答)



〔周辺地域⇔周辺地域外の発着地詳細〕

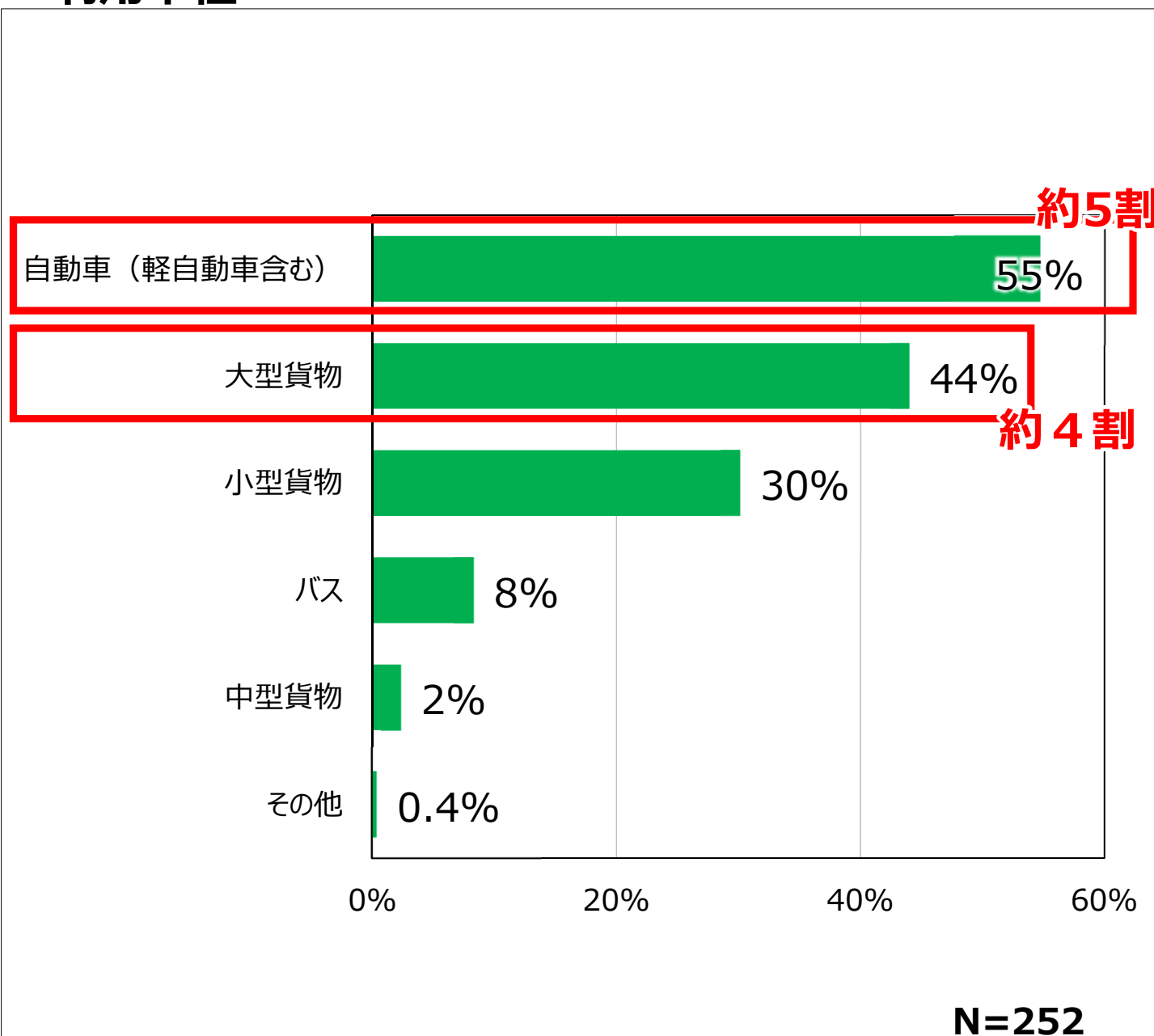


2. 第2回意見聴取の結果 3) 道路の利用形態②-2 (事業者)

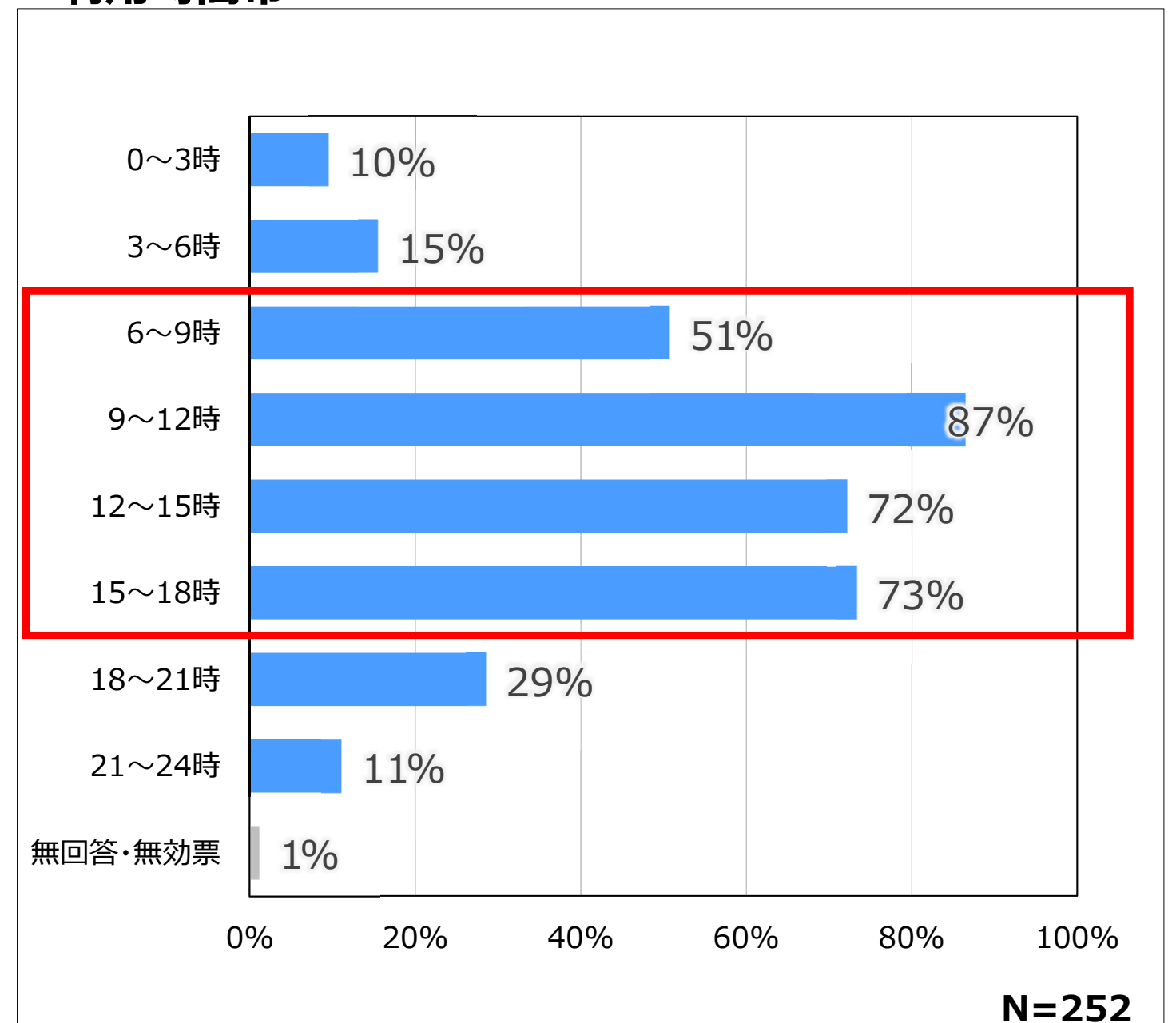
- 浜松湖西豊橋道路の周辺道路を利用する事業者の利用車種は、乗用車が約5割、大型車が約4割。
- 利用時間帯は、6時～18時の企業活動時間帯に集中している。

②-2 事業者の浜松湖西豊橋道路周辺道路の利用車種と利用時間帯

■ 利用車種 (複数回答)



■ 利用時間帯 (複数回答)



※利用車種及び利用時間帯の設問については、前問の【周辺道路の利用状況】で周辺道路を「利用する」と答えた事業者が対象
※【利用目的】で「無回答・無効票」だった回答者は集計対象外

2. 第2回意見聴取の結果 4) 質問1. ルート帯案に関すること

- 地域住民、道路利用者、事業者それぞれにおいて、「①高速道路ICに早く時間通り到達できること」「②災害時にも道路を通行できること」「③災害時に支援物資等の輸送に役立つこと」を重視する意見が約9割と多い。
- 上記以外に、地域住民では「⑤市街地を走る大型車両を減らせること」「⑥生活環境への配慮」、道路利用者では「④観光地間の移動がしやすくなること」、事業者では「⑤市街地を走る大型車を減らせること」を重視する意見が約9割と多い。

■ルート帯案を検討する際に重要だと思う事項

質問事項		地域住民 N=36,793	道路利用者 N=5,123	事業者 N=403
重視すべき事項	速達性・定時制の向上による物流支援	①高速道路ICに早く時間通り到達できること		
	災害時の信頼性向上による円滑な救援活動及び支援物資輸送	②災害時にも道路を通行できること		
		③災害時に支援物資等の輸送に役立つこと		
	広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進	④観光地間の移動がしやすくなること		
	生活交通の安全な走行環境	⑤市街地を走る大型車両を減らせること		
配慮すべき事項	生活環境への配慮	⑥生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと		
	自然環境への配慮	⑦自然環境（地形・動植物・自然公園等）に配慮し、影響が少ないこと		
	景観への配慮	⑧地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと		
	現道交通への配慮	⑨工事中的現道交通への影響が少ないこと		
	経済性への配慮	⑩道路を作る費用が安いこと		

：9割以上が重視すると回答があった項目

強くそう思う どちらかというと思う どちらかというと思うわない 全くそう思わない 無回答・無効票

※0.5%未満は非表示

2. 第2回意見聴取の結果 5) 質問2. インターチェンジの配置に関すること

- 地域住民、道路利用者、事業者それぞれにおいて、「①産業の拠点となる三河港や産業集積地などからアクセスしやすいこと」を重視する意見が約 9 割と多い。
- 上記以外に、地域住民及び事業者では、「②防災拠点からアクセスしやすいこと」「④市街地からアクセスしやすいこと」、道路利用者では「③沿線地域の観光地へアクセスしやすいこと」を重視する意見が約 9 割と多い。

■ インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき事項

質問事項	地域住民 N=36,793	道路利用者 N=5,123	事業者 N=403
①産業の拠点となる三河港や産業集積地などからアクセスしやすいこと	52% 88% 36% 7% 3% 2%	28% 85% 57% 12% 2%	65% 94% 29% 3% 1% 1%
②防災拠点からアクセスしやすいこと	53% 89% 36% 7% 2% 2%	28% 83% 55% 14% 3%	45% 90% 45% 7% 0.5% 2%
③沿線地域の観光地へアクセスがしやすいこと	40% 83% 43% 12% 3% 2%	30% 85% 55% 12% 3%	37% 81% 44% 15% 2% 1%
④市街地からアクセスしやすいこと	48% 86% 38% 8% 3% 2%	28% 83% 55% 14% 3%	50% 89% 40% 8% 1% 1%

□ : 9割以上が重視すると回答があった項目

強くそう思う どちらかというと思う どちらかというと思うわない 全くそう思わない 無回答・無効票

※0.5%未満は非表示

2. 第2回意見聴取の結果 6) アンケート自由意見

- 自由回答に寄せられた意見は一般道路利用者が16,194件、事業者が106件。
- 寄せられた主な意見としては、ルート帯検討で重視・配慮すべき事項に該当する意見の他、浜松湖西豊橋道路の早期実現や、既存道路の課題・整備状況に関する意見、周辺の計画路線検討に関する意見が多かった。

■主な意見〈一般道路利用者〉

ルート帯に関する意見	重視すべき事項	・配送業者が通行しやすく、予定が立て易い様になると良い。(安城市/50代男性) ・増える三河港の交通を一般と分離する幹線道路にして欲しい。(豊川市/60代女性) ・豊橋市は現在でも渋滞の所が多く、災害時には大変心配な状況です。災害時にも機能する道路整備が必要。(新城市/70代以上男性) ・高速道路インターチェンジ⇔田原、伊良湖の観光移動が短縮できるといいと思う。(蒲郡市/60代男性)
	配慮すべき事項	・騒音等の公害で生活に支障が出ない経路をお願いしたいです。(豊橋市/70歳以上女性) ・環境影響の少ない工法を検討して下さい。(浜松市/40代男性) ・道路ルートは、浜名湖や湖西連峰の景観を重視し、又、これから起こる地震や水害に影響がないようにしていただきたい。(湖西市/40代男性) ・産業が主な地域なので交通に障害のない工事を心がけて欲しいです。(湖西市/40代男性) ・工事期間を短くすることを心がけて欲しい。(田原市/30代男性) ・作った場合のランニングコストや、費用対効果を特に考えて欲しい。(豊川市/20代男性)
インターチェンジに関する意見		・通勤時間の渋滞がひどい為、インターチェンジで渋滞しないような構造にして欲しい。(豊橋市/30代男性) ・産業集積地周辺の企業が最大限に活用できるところにインターチェンジを希望します。(湖西市/70代以上男性) ・国道301号や国道362号等にインターチェンジの接続整備をして欲しい。(新城市/70代以上男性) ・インターチェンジにドクターヘリが降りるところがあるといいです。(浜松市/60代男性)
その他		・防音設備、女性や子供等渋滞時における際のトイレ設備等あればありがたいです。(磐田市/40代男性) ・初めて来た人が誤認しないよう、ユニバーサルデザイン等わかりやすい表現を入れた道路にして欲しい。(揖斐郡/20代女性) ・景色が楽しめる場所にはパーキングを作って欲しい。(中津川市/50代男性) ・三河港周辺の渋滞緩和も検討願います。(立体交差とか信号機の表示時間見直し) (岡崎市/50代男性) ・道路周辺地域に限らず、三遠北部や長野県、さらには日本海側へとつながる広域ネットワークの一環として整備していただければと思います。(東京都/40代男性) ※他、道路機能・構造等の課題、工事期間及び開通時期、運転マナー、道路管理（路面状況）等、同意見多数

〈事業者〉

ルート帯に関する意見	重視すべき事項	・田原から高速道路インターチェンジまで早く行ける道路にして欲しい。(田原市/製造業) ・三河港エリアの企業の輸送環境改善、従業員の通勤環境改善。(豊橋市/卸売業) ・人物の交流を図り地域の活性化を期待。(菊川市/サービス業) ・大規模災害時国道301号は危険、通行止めによる影響は大きく、国道301号対策を考慮するルートを強く希望する。(湖西市/製造業) ・浜名湖周辺に観光道路が少ないので、それも満たすと良いと思います。(湖西市/製造業) ・三河港だけでなく、現在の不便な地域を解消する内容にして欲しい。(袋井市/製造業)
	配慮すべき事項	・運送面においては、時間やコストの削減につながることで、地域における安全面の確保の両立が可能となるように配慮すべき。(豊橋市/金融業) ・住民や動物に影響が少ないルートと工法。(田原市/NPO法人) ・アクセス道路の整備、工事期間の縮小。(田原市/旅行業) ・市街地の生活環境に配慮しつつ、自然環境への影響が少ないこと、道路を作る費用が安いこと、経済波及効果。(豊橋市/建設業)
インターチェンジに関する意見		・豊橋市は高速道路インターチェンジがないのであって欲しい。(豊橋市/宿泊業) ・インターチェンジ、ジャンクションでの渋滞の緩和。(田原市/製造業)
その他		道路機能・構造等の課題、計画の早期実現、工事期間及び開通時期、未整備区間の解消等、同意見多数

2. 第2回意見聴取の結果 7) ヒアリング①

- 「速達性・定時制の向上による物流支援」、「災害時の信頼性向上による円滑な救援活動及び支援物資輸送」、「広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進」、「生活交通の安全な走行環境」に対して、重視すべきとの意見が多くの関係機関、団体から挙げられた。

■ルート帯案を検討する際に重要だと思う事項

速達性・定時制の向上による物流支援	・浜松湖西豊橋道路の主目的である「物流生産性の向上」・「地域産業の活性化」を踏まえると、地域の産業・経済のためには重要港湾であり、多数の企業が集結する三河港（田原・明海地区）から高速道路インターチェンジまでのアクセス時間短縮及び定時性が企業からも望まれており、最も重要視されるべきである。（豊橋市/自治体） ・三河地区や静岡県西部地区への物流ルートとして国道1号を利用する大型車両が大半であり、遠州難治いの国道1号と東名高速道路とを南北に直結できるルートにより、走行ルートの選択肢が増え移動時間短縮が可能。（湖西市/製造業） ・物流の観点から三ヶ日ジャンクションに接続する事と、最短距離で高速道路に繋ぐことが重要。農産物は鮮度が重要なので路面の状況と運搬にかかる時間を気にしている。（豊川市/JA） ・企業誘致においては、港・道路にボトルネックがあると誘致は難しい。そのためには、高規格道路との接続の時間短縮は、企業誘致に絶対必要である。（田原市/自治体） ・三河港からの高速道路インターチェンジ等までの輸送時間短縮及び定時性の確保。三河港から市南東部の県境企業までのアクセス強化。（三河港振興会）
災害時の信頼性向上による円滑な救援活動及び支援物資輸送	・豊橋市の沿岸部は、土地が低いため雨が連続と浸水の恐れがあり、災害時にも通行できる道路は重要。市と災害時における避難輸送の協定を結んでおり、避難所から避難所への輸送や、帰宅困難者の輸送、医療施設への搬送等で活用できることが大事。（豊橋市/バス会社） ・南海トラフ巨大地震の懸念もあるためリダンダンシー機能等、防災効果も持つルート帯であることが重要。（新城市/商工会） ・奥三河地域から浜松市や豊橋市、豊川市内の病院等への搬送があり、現状は国道151号を利用しているが浜松湖西豊橋道路が整備されると浜松市方面等へは、アクセス時間短縮が期待される、搬送においては少しでも早いことも当然重要。（新城市/消防） ・大規模自然災害時において、被害者の搬送、災害拠点病院との転医搬送や県外からの医療関連物資の補給、自衛隊・D-MAT等の人的支援がスムーズに行えることが重要。（田原市/病院） ・南海トラフ巨大地震の懸念もあるためリダンダンシー機能等、防災効果も持つルート帯であることが重要。（湖西市/商工会） ・浜松市・湖西市の広域物資輸送拠点から湖西市の物資集積所への物資輸送では、地震等の場合は国道1号等の沿岸部からの輸送は考えにくく、三ヶ日方面など北側からの輸送が想定されるため、災害に強い南北軸が必要。（静岡県/トラック協会）
広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進	・三ヶ日から三河地域に新たな道路ができて、東名・新東名及び三遠南信自動車道路の接続により、新たなマーケット地域の創出につながるため、第一として観光地への移動アクセスの改善が重要と考えます。（浜松市/観光協会） ・渥美半島から最寄りのインターチェンジまで遠いだけでなく、国道42号や国道259号の渋滞等により時間定時性に乏しく、時間を要する為、時間定時性と所要時間の短縮を図り、豊橋市に道の駅ができてから、田原市の道の駅等との周遊がみられるように、観光地間を連絡し、周遊観光に寄与すること。（田原市/観光業）
生活交通の安全な走行環境	・三ヶ日～湖西方面への交通が三ヶ日市街を迂回でき、市街地に流入をまねかないルート。（浜松市/警察署） ・市内の渋滞や事故の軽減に繋がる道路にして欲しい。道路ができることで生活交通と産業交通の棲み分けができると良い。（豊橋市/タクシー会社）

2. 第2回意見聴取の結果 7) ヒアリング②

- 「生活環境」、「自然環境」、「景観」、「現道交通」、「経済性」に対して、配慮すべきとの意見が多く関係機関、団体から挙げられた。
- インターチェンジの配置を検討する際に配慮すべき事項として、既存路線と接続及び交通状況を踏まえた配置、構造であること、産業拠点及び地域の重要拠点からのアクセスしやすさ等について意見が挙げられた。

■ルート帯案を検討する際に配慮すべき事項

生活環境への配慮	・工事中、施工による周辺環境や現道交通に支障が無いよう地域交通等への影響を最小限に抑え、さらなる渋滞をまねかないようにすべきである。（豊橋市/自治体） ・ルートによっては、優良な畜産地を通過している為、車のライトなど深刻な影響が出ないか心配。（国道23号沿線や、国道23号の南側に農地、畜産が多い）（豊橋市/JA） ・市街地から外れて自動車専用道としていただくと、時間的な利便性向上と共に、周辺住民や環境にも配慮できると思う。（浜松市/温泉協会） ・整備後の周辺地域の開発等も考慮したルート選定、インターチェンジの配置が重要。（静岡県/自治体）
自然環境への配慮	・自然環境（動植物等）に配慮し、影響が少ないことが重要。（豊橋市/自治体）
景観への配慮	・道路やサービスエリアなどから浜名湖などきれいな景観が見えることで、立ち寄ってもらえるような機能も必要。（浜松市/観光協会） ・浜名湖の景観を俯瞰的に見ることが可能なルート案をお願いしたい。その際、その構造物についても景観への配慮がされ、インフラツーリズムが可能となるものでありたい。（湖西市/観光協会）
現道交通への配慮	・工事期間中の現道への影響の軽減に務めること。（豊川市/自治体） ・工事期間中における市街地への大型車両の流入、交通渋滞等現道交通への影響を抑えて安全性の確保に努めて欲しい。（愛知県/教育委員会） ・国道23号が渋滞すると救急車が通れない。工事の影響が少ない方がよい。（新城市/消防）
経済性への配慮	・東西線は既存道路の拡幅で対応し、環境破壊を最小限に抑え、また、建設コストそのものを削減させる方法を選択。（湖西市/商工会）
その他	工事期間及び開通時期、道路機能・構造に関する要望、現道交通に関する課題及び要望 等

■インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき事項

- ・高速道路なので**通行止めなどの有事の際は、退避**する必要がある。退避した後、**一般道で病院にアクセス**する必要があるため、**幹線道路に接続されること**が望ましい。（豊橋市/病院）
- ・緊急輸送道路や救援物資の受入基地など、**災害発生時の拠点となる箇所の最寄り**にあることが望ましい。また、地域の産業・経済の利便性のためには**市街地からのアクセス性**が高い位置にインターチェンジの設置が重要。（豊橋市/自治体）
- ・市南東部の県境企業を含め**三河港利用企業等**（三河港利用の広域物流が主）が集積する**各地区からのスムーズな接続と渋滞の回避**。（三河港振興会）
- ・主要な道路との接続。インターチェンジの配置によって**利用の分散**を図り、**渋滞対策**につなげること。スマートインターチェンジやヘリポートの設置。（豊川市/自治体）
- ・起終点となる**三河港への接続箇所**は、**円滑な交通が確保**されるよう配慮することが必要。現状の渋滞が更に悪化しないような取り付け、構造として欲しい。（三河港振興会）
- ・新所原市街地周辺の**産業集積地からのアクセス性**が良い箇所にICが出来れば、通勤交通の利用により、国道301号の渋滞緩和効果も大きいと思う。（湖西市/自治体）

2. 第2回意見聴取の結果 8) 意見聴取結果のとりまとめ：ルート帯案

● アンケート結果やヒアリング結果から、ルート帯案を検討する際に重視すべき事項、配慮すべき事項について以下の通り確認ができた。

■ ルート帯案を検討する際に重視・配慮すべき事項

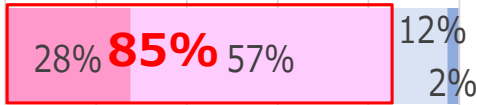
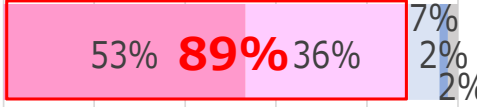
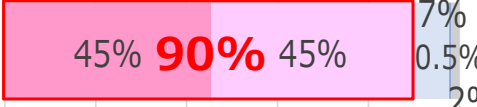
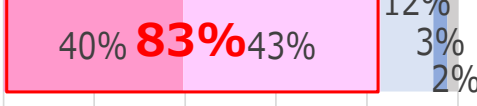
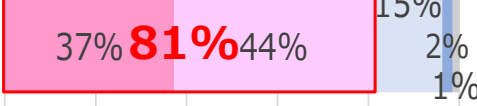
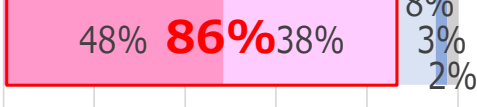
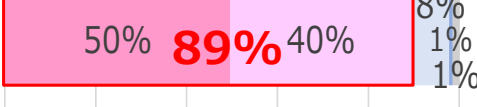
質問事項			地域住民 N=36,793	道路利用者 N=5,123	事業者 N=403	ヒアリング結果	意見聴取結果を踏まえた重視・配慮すべき事項
重視すべき事項	速達性・定時制の向上による物流支援	①高速道路ICに早く時間通り到達できること	54% 86% 32% 7% 3% 2%	31% 87% 56% 10% 3%	69% 93% 24% 1% 4% 2%	● 多数の企業が集結する三河港から高速道路インターチェンジまでのアクセス性が重要。	○
	災害時の信頼性向上による円滑な救援活動及び支援物資輸送	②災害時にも道路を通行できること	63% 91% 28% 5% 2%	37% 85% 48% 11% 4%	65% 93% 28% 5% 1%	● 災害時にも通行できる道路であること。また、大規模災害時におけるリダンダンシー機能等を備えていることが重要。	○
		③災害時に支援物資等の輸送に役立つこと	68% 93% 25% 3% 2%	44% 87% 43% 10% 3%	64% 94% 30% 4% 2%	● 災害時における防災拠点病院との連絡性や支援物資の補給、人道的支援がスムーズに行えること重要。	○
	広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進	④観光地間の移動がしやすくなること	41% 82% 41% 12% 4% 2%	34% 86% 52% 11% 3%	36% 79% 43% 16% 3% 3%	● 観光地間のアクセス性の向上、周遊観光に寄与することが重要。	○
	生活交通の安全な走行環境	⑤市街地を走る大型車両を減らせること	53% 88% 35% 8% 2% 2%	30% 82% 52% 14% 3%	48% 87% 39% 10% 2% 0.5%	● 生活交通と産業交通の住み分けが図られ、市街地の安全な走行環境に繋がることが重要。	○
配慮すべき事項	生活環境への配慮	⑥生活環境（大気・騒音等）に配慮し、影響が少ないこと	47% 86% 39% 9% 2% 2%	27% 81% 54% 16% 3%	41% 84% 43% 13% 2% 0.5%	● 騒音等の公害による生活環境への影響に配慮することが重要。	○
	自然環境への配慮	⑦自然環境（地形・動植物・自然公園等）に配慮し、影響が少ないこと	41% 82% 41% 12% 3% 2%	27% 79% 52% 17% 4%	37% 81% 44% 14% 2% 3%	● 自然環境（動植物等）に配慮し、影響が少ないルート及び工法であることが重要。	
	景観への配慮	⑧地域の景観（景観資源）に配慮し、影響が少ないこと	33% 78% 45% 16% 4% 2%	22% 75% 53% 20% 4%	30% 77% 47% 18% 2% 3%	● 浜名湖といった地域の景観に配慮したルート及び構造物であることが重要。	
	現道交通への配慮	⑨工事中的現道交通への影響が少ないこと	36% 79% 43% 15% 4% 2%	22% 74% 52% 21% 4%	39% 79% 40% 16% 2% 2%	● 工事における周辺道路の安全性や交通渋滞等、現道への影響を抑えることが重要。	
	経済性への配慮	⑩道路を作る費用が安いこと	36% 74% 38% 18% 6% 2%	21% 67% 46% 25% 7%	28% 70% 42% 23% 5% 3%	● ランニングコストや費用対効果が見込めることが重要。	

強くそう思う どちらかというと思う どちらかというと思わない 全くそう思わない 無回答・無効票

※0.5%未満は非表示

8) 意見聴取結果のとりまとめ：インターチェンジの配置

- ## ■ インターチェンジの設置を検討する際に配慮すべき事項

質問事項	地域住民 N=36,793	道路利用者 N=5,123	事業者 N=403	ヒアリング結果	意見聴取結果を踏まえた配慮すべき事項
①産業の拠点となる三河港や産業集積地などからアクセスしやすいこと				- 産業拠点集積地周辺の企業が最大限に活用できる配置であることが重要。 - 三河港への接続箇所へのインターの配置は円滑な交通が確保されることが重要。	○
②防災拠点からアクセスしやすいこと				- 緊急搬送時を想定した場合、主要な幹線道路との接続が重要。 - 緊急輸送道路や支援物資の受入基地など、災害発生時の拠点の最寄りであることが重要。	○
③沿線地域の観光地へアクセスがしやすいこと				観光地への移動アクセスの改善に繋がる配置であることが重要。	○
④市街地からアクセスしやすいこと				インターを接続させる現道は、地域の交通利用状況に配慮した配置であることが重要。	○

※0.5%未満は非表示

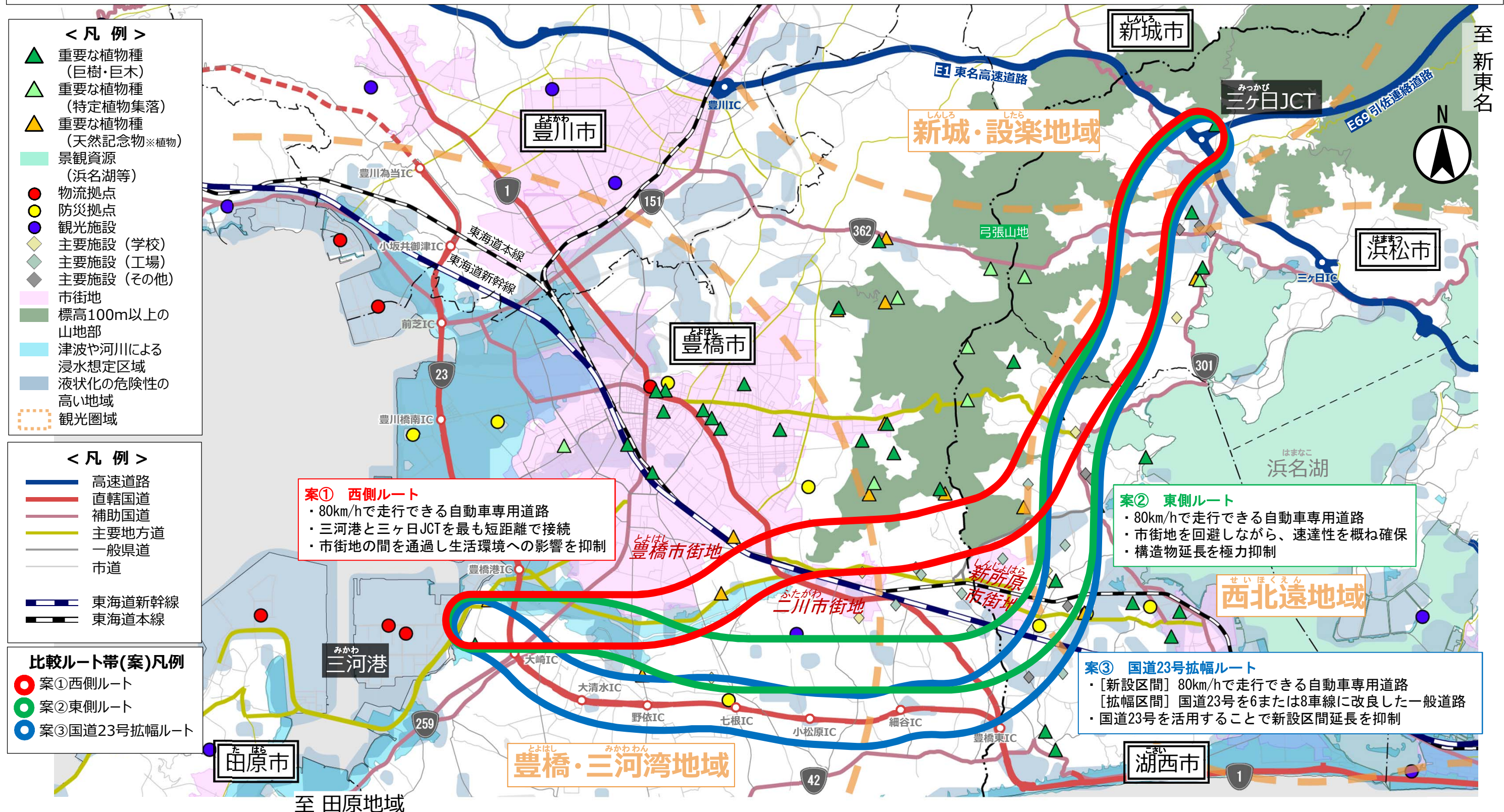
3. 対応方針（原案）の検討

3. 対応方針（原案）の検討 1）ルート帯案の検討

[案①]西側ルート：豊橋市街地と二川市街地の中間を通過するルート

[案②]東側ルート：新所原市街地の東側を通過するルート

[案③]国道23号拡幅ルート：新所原市街地の東側を通過し、一部国道23号を拡幅するルート



3. 対応方針（原案）の検討 2）ルート帯案の比較検討

●意見聴取にてルート帯案を考える際に重視すべき事項に基づき比較すると【案① 西側ルート】が最も優位である。

評価軸		案① 西側ルート	案② 東側ルート	案③ 国道23号拡幅ルート
ルート概要	概要	豊橋市街地と二川市街地の中間を通過するルート	新所原市街地の東側を通過するルート	新所原市街地の東側を通過し、一部、国道23号を拡幅するルート
	延長	約26km	約29km	約31km (うち国道23号拡幅区間 約14km)
政策目標	速達性、定時性の向上による物流支援	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：14分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：5分短縮) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：11分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)	時間短縮が見込まれる (三河港から東名高速への時間：6分短縮) (豊橋市役所から高速道路への時間※：短縮なし) (湖西市役所から高速道路への時間※：29分短縮)
	災害時における円滑な救援等活動及び支援物資輸送	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい	津波浸水域や液状化が想定される地域を回避または橋梁構造により通過することで、大規模災害の影響を受けにくい
		防災拠点へのアクセス性向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：8箇所)	防災拠点へのアクセス性向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：7箇所)	防災拠点へのアクセス性向上が見込まれる (現況よりアクセス性がよくなる防災拠点：5箇所)
	広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進	観光地間の移動が見込まれる (豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：17分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる (豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：14分短縮)	沿線地域の主要な観光圏域の相互アクセス性向上が見込まれる (豊橋・三河湾地域と新城・設楽地域の移動時間：9分短縮)
	市街地部における安全な走行環境の確保	市街地を走る大型車両を減らせる※ ³ (ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約700箇所)	市街地を走る大型車両を減らせる (ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約600箇所)	市街地を走る大型車両を減らせる (ルート帯周辺に立地する製造業の事業所数：約300箇所)
配慮すべき事項	環境への影響※ ⁴	生活環境への影響 (集落・市街地の大気質・騒音)	市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい	市街地を概ね回避し、国道23号を活用するため、影響を与える可能性が最も小さい
		自然環境への影響 (動物、植物、生態系等)	植物の重要な種の生息地等を概ね回避するため、影響を与える可能性は比較的小さい	植物の重要な種の生息地等を最も回避するため、影響を与える可能性は小さい
		景観等への影響 (景観等)	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい	景観の保全上重要な箇所を回避するため影響を与える可能性は小さい
	工事中の現道交通への影響		新設整備のため、現道交通に影響を与える可能性は小さい	国道23号の拡幅工事により、交通規制が必要となる場合があるため、現道交通に与える影響が大きい
経済性への配慮		約3,000億円～3,600億円	約3,100億円～3,700億円	約2,700億円～3,200億円

※1 東名高速へのアクセスと新設する自動車専用道路へのアクセスの比較
※2 令和3年6月11日に「道の駅とよはし」の広域防災拠点への追加を受けて評価対象とする防災拠点として新たに追加
※3 計画路線の利用により、市街地を通過する大型車両の転換が想定される事業所数の比較
※4 今後の具体的なルートの位置や道路構造を決定する段階において、できる限り環境への影響を回避したルートや構造等を検討

 ：意見聴取結果を踏まえた重視すべき事項、配慮すべき事項 ：他の案と比較し優位な事項

3. 対応方針（原案）の検討 3）ルート帯案と対応方針（原案）

■ 道路事業の必要性

政策目標を達成できる道路整備を検討

【政策目標】

- 速達性、定時性の向上による物流支援
- 災害時の信頼性向上による円滑な救援等活動及び支援物資輸送
- 広域道路ネットワークの構築による地域間交流の促進
- 生活交通の安全な走行環境

地域の意見聴取の結果

【ルート帯検討における重視すべき事項】

- 高速道路ICに早く時間通り到達できること
- 観光地間の移動がしやすくなること
- 災害時にも道路を通行できること
- 市街地を走る大型車両を減らせること
- 災害時に支援物資等の輸送に役立つこと

【インターチェンジ配置検討における重要事項】

- 産業拠点や防災拠点などの地域の重要拠点、市街地からのアクセス性
- インターチェンジ出入口付近の既存道路への影響

■ 対応方針（原案）

1. ルート帯について

三河港から高速道路ネットワークへの速達性に最も優れ、防災拠点へのアクセス性向上、観光圏域間の移動性向上、現道からの大型車交通の削減が最も期待できる【案① 西側ルート】とする。

【理由】

- 三河港から高速道路ネットワークへの速達性・定時性が向上する。
- 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成する。
- 広域道路ネットワークの構築による観光圏域間の移動性が向上する。
- 生活交通の安全な走行環境が期待される。

2. インターチェンジの配置の考え方

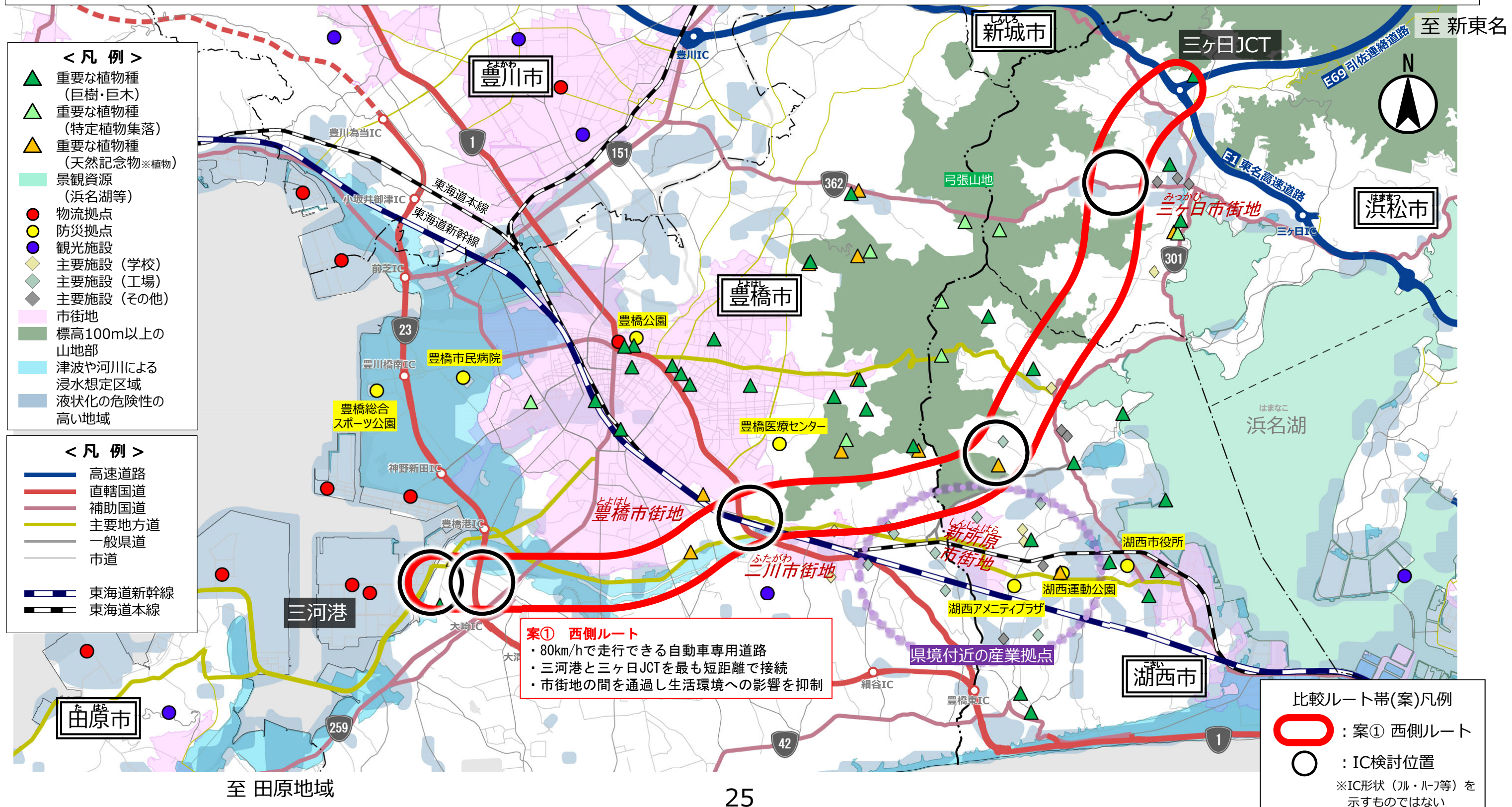
インターチェンジ配置については、三河港や産業集積地からのアクセス性を考慮するとともに、市街地や防災拠点とのアクセス性にも配慮した配置案とする。

■ その他

- 具体的な道路構造の検討に際し、生活環境（大気質、騒音等）への影響、家屋の移転、自然環境、景観への影響、工事中の現道交通への影響をできる限り少なくし、コスト縮減等に配慮する。
- インターチェンジの検討にあたっては、アクセス道路との接続箇所付近において渋滞を引き起こすことの無いよう配慮する。

3. 対応方針（原案）の検討 4）ルート帯案・インターチェンジの配置案

- 三河港から高速道路ネットワークへの速達性に最も優れ、防災拠点へのアクセス性向上、観光圏域間の移動性向上、現道からの大型車交通の削減が最も期待できる【案① 西側ルート】とする。
- インターチェンジ配置については、産業拠点とのアクセス性を考慮するとともに、市街地や防災拠点とのアクセス性にも配慮した配置案とする。

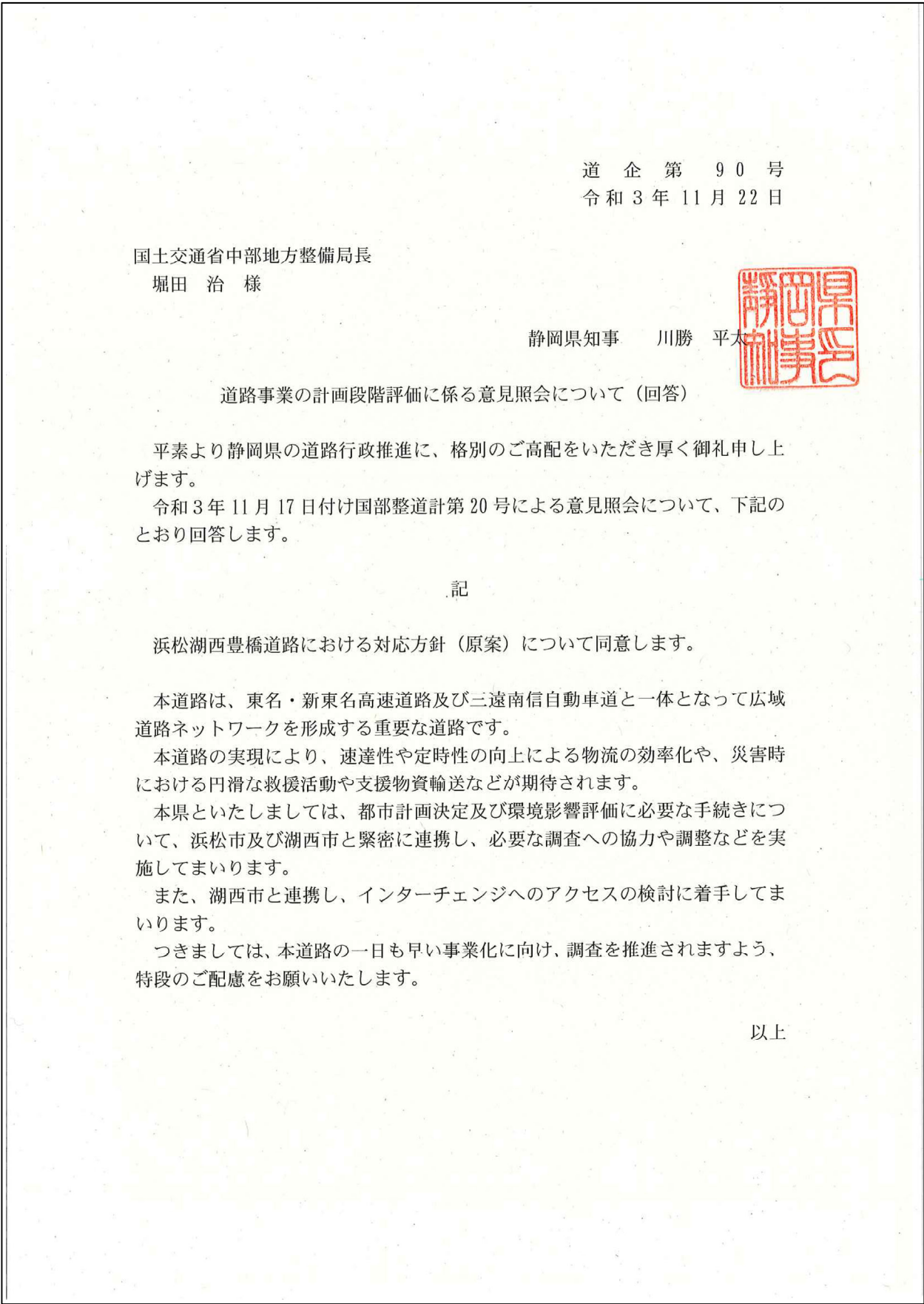


4. 自治体への意見照会結果

4. 自治体への意見照会結果

1) 自治体への意見照会 [対応方針(原案)に対する意見]

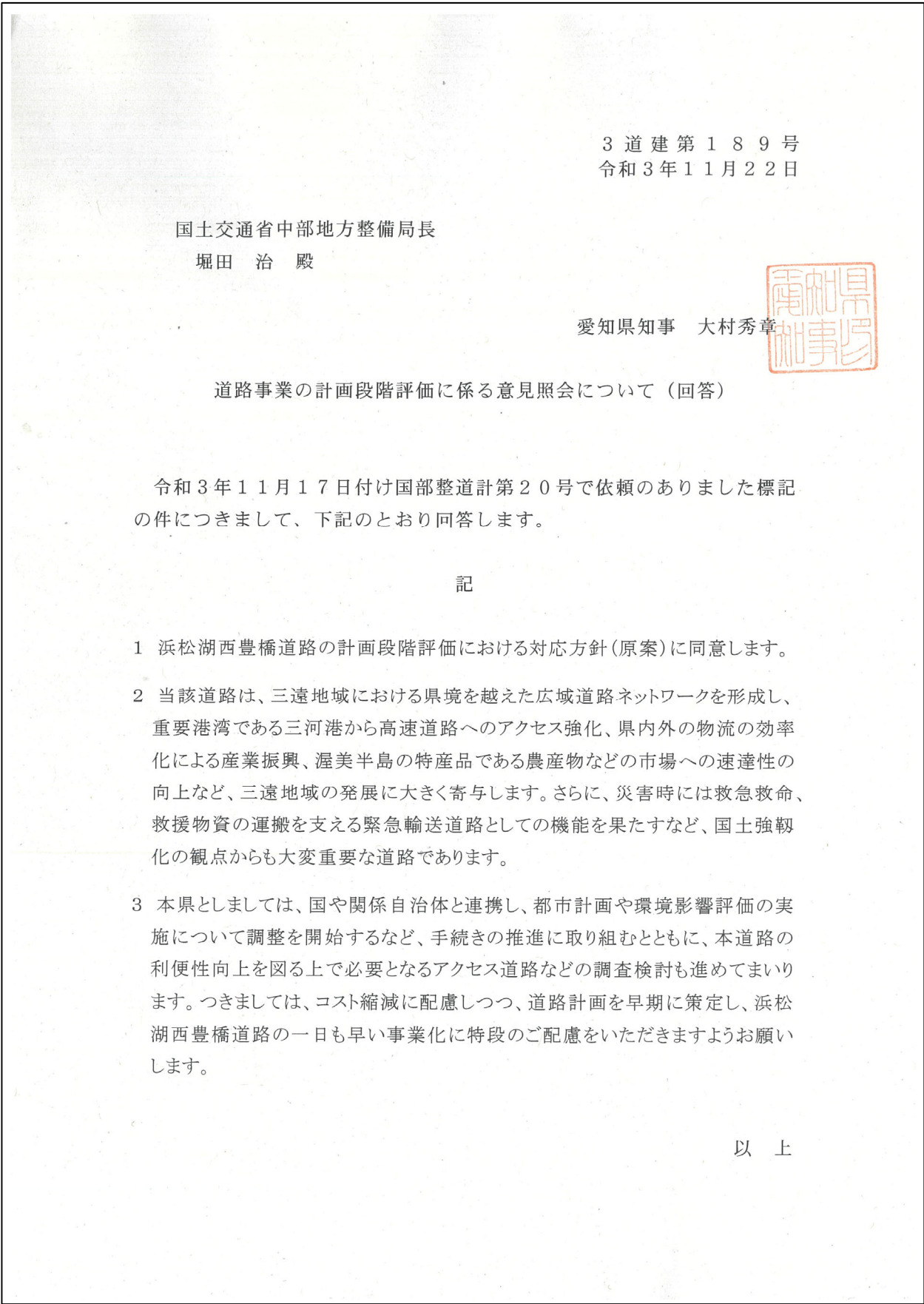
自治体名	意見
静岡県	浜松湖西豊橋道路における対応方針（原案）について同意します。 本道路は、東名・新東名高速道路及び三遠南信自動車道と一体となって広域道路ネットワークを形成する重要な道路です。 本道路の実現により、速達性や定時性の向上による物流の効率化や、災害時における円滑な救援活動や支援物資輸送などが期待されます。 本県といたしましては、都市計画決定及び環境影響評価に必要な手続きについて、浜松市及び湖西市と緊密に連携し、必要な調査への協力や調整などを実施してまいります。 また、湖西市と連携し、インターチェンジへのアクセスの検討に着手してまいります。 つきましては、本道路の一日も早い事業化に向け、調査を推進されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。



4. 自治体への意見照会結果

1) 自治体への意見照会 [対応方針(原案)に対する意見]

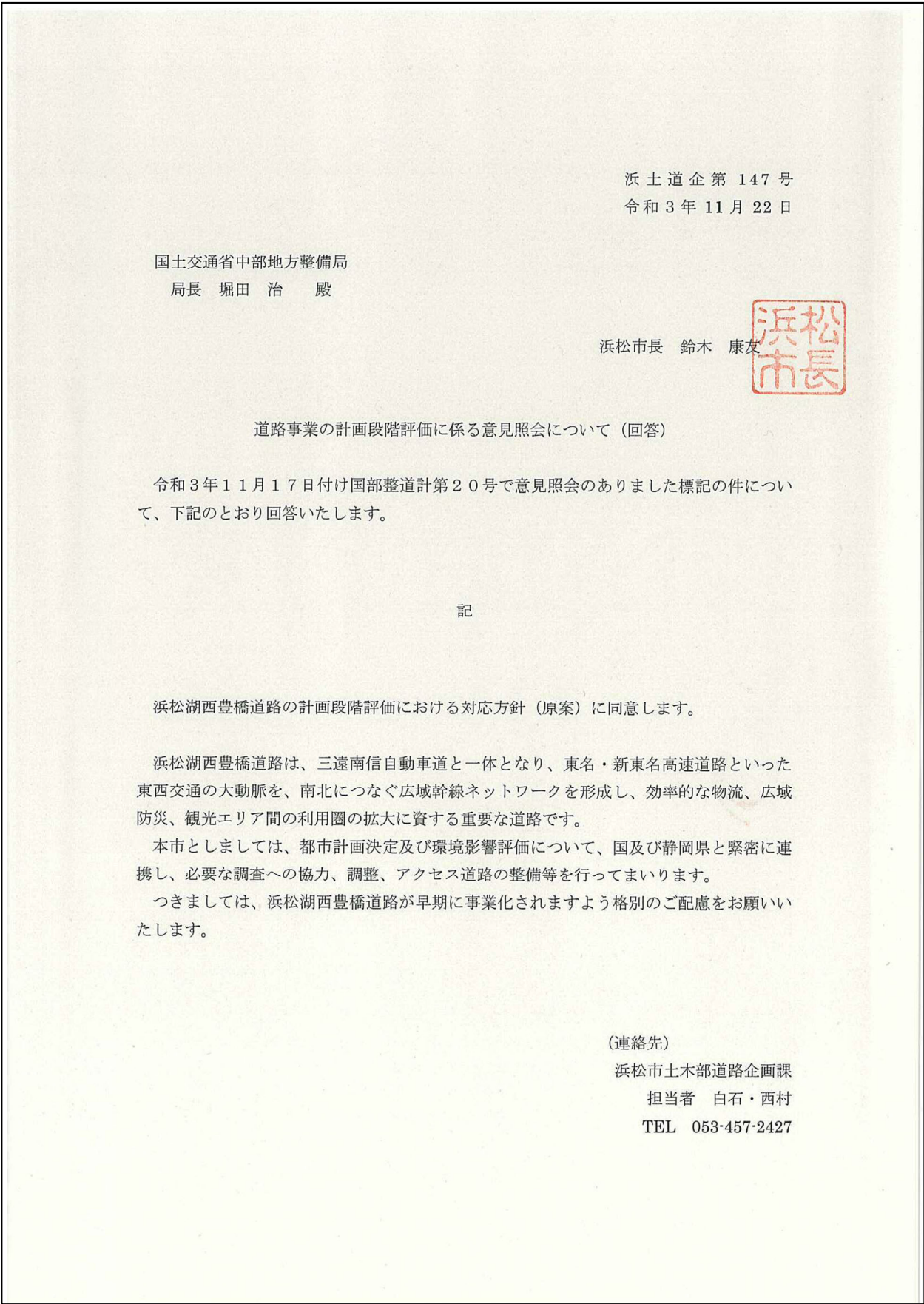
自治体名	意見
愛知県	1 浜松湖西豊橋道路の計画段階評価における対応方針（原案）に同意します。 2 当該道路は、三遠地域における県境を越えた広域道路ネットワークを形成し、重要港湾である三河港から高速道路へのアクセス強化、県内外の物流の効率化による産業振興、渥美半島の特産品である農産物などの市場への速達性の向上など、三遠地域の発展に大きく寄与します。さらに、災害時には救急救命、救援物資の運搬を支える緊急輸送道路としての機能を果たすなど、国土強靱化の観点からも大変重要な道路であります。 3 本県としましては、国や関係自治体と連携し、都市計画や環境影響評価の実施について調整を開始するなど、手続きの推進に取り組むとともに、本道路の利便性向上を図る上で必要となるアクセス道路などの調査検討も進めてまいります。つきましては、コスト縮減に配慮しつつ、道路計画を早期に策定し、浜松湖西豊橋道路の一日も早い事業化に特段のご配慮をいただきますようお願いします。



4. 自治体への意見照会結果

1) 自治体への意見照会 [対応方針(原案)に対する意見]

自治体名	意見
浜松市	浜松湖西豊橋道路の計画段階評価における対応方針（原案）に同意します。 浜松湖西豊橋道路は、三遠南信自動車道と一体となり、東名・新東名高速道路といった東西交通の大動脈を、南北につなぐ広域幹線ネットワークを形成し、効率的な物流、広域防災、観光エリア間の利用圏の拡大に資する重要な道路です。 本市としましては、都市計画決定及び環境影響評価について、国及び静岡県と緊密に連携し、必要な調査への協力、調整、アクセス道路の整備等を行ってまいります。 つきましては、浜松湖西豊橋道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。



4. 自治体への意見照会結果

1) 自治体への意見照会 [対応方針(原案)に対する意見]

自治体名	意見
湖西市	1. 浜松湖西豊橋道路における対応方針（原案）について同意します。 2. 当該道路は、東名・新東名高速道路、三遠南信自動車道、名豊道路と広域道路ネットワークを形成する非常に重要な道路であり、この道路の整備により物流効率化が図られ、当該地域の自動車部品をはじめとする産業の生産性向上に繋がるとともに、観光振興や地域防災力の向上等、更なる発展に寄与するものと期待しております。 3. 本市としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう最大限努力するとともに、行政・経済・農業団体等、地域が一体となって早期実現に向けた取り組みを強化してまいります。 また、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地域の利便性向上に資するＩＣアクセス道路の検討・整備と併せ、ＩＣ周辺の再開発など、土地利活用の推進に着実に取り組んでまいります。 つきましては、浜松湖西豊橋道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

湖都土第760号
令和3年11月19日

国土交通省
中部地方整備局長 殿

湖西市長 影山 剛士

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和3年11月17日付け国部整道計第20号で照会のありました標記の件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1. 浜松湖西豊橋道路における対応方針（原案）について同意します。

2. 当該道路は、東名・新東名高速道路、三遠南信自動車道、名豊道路と広域道路ネットワークを形成する非常に重要な道路であり、この道路の整備により物流効率化が図られ、当該地域の自動車部品をはじめとする産業の生産性向上に繋がるとともに、観光振興や地域防災力の向上等、更なる発展に寄与するものと期待しております。

3. 本市としましても、関係自治体と連携しながら、必要な調査が一層加速されるよう最大限努力するとともに、行政・経済・農業団体等、地域が一体となって早期実現に向けた取り組みを強化してまいります。

また、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地域の利便性向上に資するＩＣアクセス道路の検討・整備と併せ、ＩＣ周辺の再開発など、土地利活用の推進に着実に取り組んでまいります。

つきましては、浜松湖西豊橋道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

(連絡先)

湖西市都市整備部土木課

担当：内藤・杉山

電話：(053) 576-4547

Email: dobokukikaku@city.kosai.lg.jp

4. 自治体への意見照会結果

1) 自治体への意見照会 [対応方針(原案)に対する意見]

自治体名	意見
豊橋市	1. 浜松湖西豊橋道路の計画段階評価における対応方針（原案）について同意します。 2. 浜松湖西豊橋道路は、世界有数の自動車港湾である三河港や、全国屈指の農産物産出額を誇る本市からの高速道路へのアクセス性を高め、地域産業のさらなる発展に寄与するとともに、国土強靱化の観点からも大きな役割を果たすことが期待される非常に重要な道路であります。 3. 本市としましても、早期実現に向けて、環境影響評価及び都市計画決定について、関係自治体と緊密に連携して、必要な手続き等を迅速かつ着実に実施するとともに、整備効果を最大限に発揮させるために必要なアクセス道路の整備・検討を進めて参ります。 つきましては、浜松湖西豊橋道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

3 豊道建第 103 号
令和 3 年 11 月 22 日

国土交通省
中部地方整備局長 殿

豊橋市長 浅井 由崇

愛知県豊橋市長之印

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和 3 年 11 月 17 日付け国部整道計第 20 号で照会のありました表題の件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1. 浜松湖西豊橋道路の計画段階評価における対応方針（原案）について同意します。

2. 浜松湖西豊橋道路は、世界有数の自動車港湾である三河港や、全国屈指の農産物産出額を誇る本市からの高速道路へのアクセス性を高め、地域産業のさらなる発展に寄与するとともに、国土強靱化の観点からも大きな役割を果たすことが期待される非常に重要な道路であります。

3. 本市としましても、早期実現に向けて、環境影響評価及び都市計画決定について、関係自治体と緊密に連携して、必要な手続き等を迅速かつ着実に実施するとともに、整備効果を最大限に発揮させるために必要なアクセス道路の整備・検討を進めて参ります。
つきましては、浜松湖西豊橋道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

(連絡先)

豊橋市建設部道路建設課
担当者 山中、原野
電話 (0532) 51-2520

4. 自治体への意見照会結果

1) 自治体への意見照会 [対応方針(原案)に対する意見]

自治体名	意見
田原市	○ 浜松湖西豊橋道路の計画段階評価における対応方針（原案）について同意します。 ○ 浜松湖西豊橋道路は、地域産業及び観光の振興に資するとともに、災害時のネットワークを構築する非常に重要な道路であります。 ○ 本市としましても、関係自治体や地元企業などにより連携を強化して、国の調査が一層加速されるよう最大限努力して参ります。 つきましては、浜松湖西豊橋道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

21田設第210号
令和3年11月18日

国土交通省
中部地方整備局長 殿

田原市
田原市長 山下政良
(担当 都市建設部建設課)

浜松湖西豊橋道路の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和3年11月17日付け国部整道計第20号で依頼のありました標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

○ 浜松湖西豊橋道路の計画段階評価における対応方針（原案）について同意します。

○ 浜松湖西豊橋道路は、地域産業及び観光の振興に資するとともに、災害時のネットワークを構築する非常に重要な道路であります。

○ 本市としましても、関係自治体や地元企業などにより連携を強化して、国の調査が一層加速されるよう最大限努力して参ります。

つきましては、浜松湖西豊橋道路が早期に事業化されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

5. 対応方針（案）まとめ

5. 対応方針（案）まとめ 1）対応方針（案）

- 三河港から高速道路ネットワークへの速達性に最も優れ、防災拠点へのアクセス性向上、観光圏域間の移動性向上、現道からの大型車交通の削減が最も期待できる【案① 西側ルート】とする。
- インターチェンジ配置については、産業拠点とのアクセス性を考慮するとともに、市街地や防災拠点とのアクセス性にも配慮した配置案とする。

